

第12版  
社会資本の  
ストック効果事例集



Infrastructure  
Stock Effects

令和8年3月  
福島県



Infrastructure  
Stock Effects

Fukushima  
Prefecture

# ストック効果の最大化に向けた取組

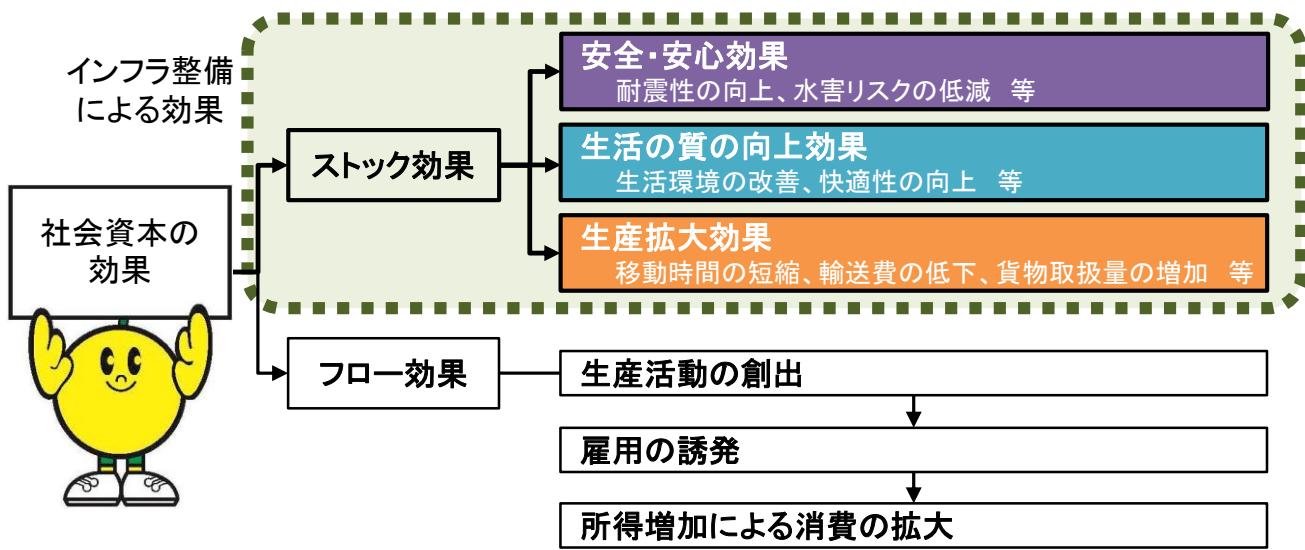
## 社会資本のストック効果の概要

整備された道路や河川などの**社会資本が機能して、効率性や生産性等が向上する効果**のこと。

長期にわたりその効果が発揮されるとともに、他の社会資本や民間開発等との相乗作用により、効果が広がる。

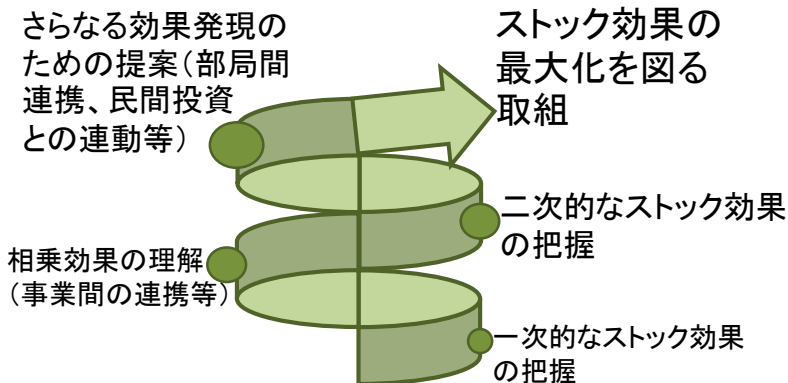
(例)

- ◆ 高速道路網の完成により、新たな観光ルートが形成され、経済の活性化に寄与する。
- ◆ 治水事業により水害リスクが低減されることで、土地利用の高度化が図られる。
- ◆ 従前から整備していた施設が効果を発揮し、豪雨災害の防止に繋がる。



## ＜ストック効果の最大化に向けて・・・＞

- 更なるストック効果を生み出していくため、計画や設計など早い段階からの対応（事業間の連携や民間投資との連動など）が必要となる。
- 県でも事例集の充実を図りながら、ストック効果の最大化に取り組んでいる。



## 【ストック効果の数値化への取組】

国は、これまでの事業評価手法であるB/C(費用対効果)に加え、ストック効果の見える化(数値化)の検討を進めている。

「間接的な効果の範囲をどこまで広げるか」「誰の視点で評価するのか」などの課題はあるが、整理できれば、今後の事業評価において有効な手段となる。

「第2期復興・創生期間」、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」で実施した事業により新たに発現したストック効果や、今後、ストック効果の発現が期待される事業箇所などの代表事例を紹介します。

(1)「第2期復興・創生期間」の復興事業

(2)「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」

## (1)「第2期復興・創生期間」の復興事業

◆原子力災害からの復興に向け、国等と連携し、避難指示解除区域と周辺の主要都市を結ぶ「**ふくしま復興再生道路**」の整備を進めてきました。



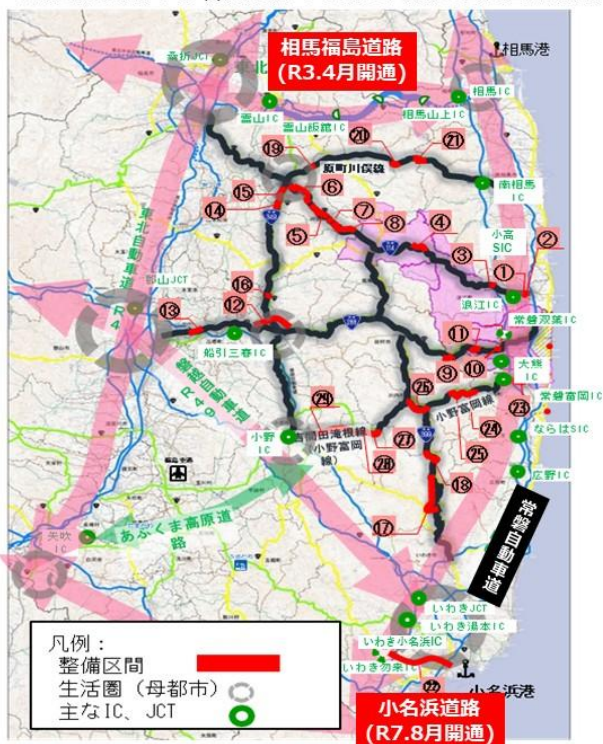
◆ふくしま復興再生道路(8路線29工区)は、全工区着工し、令和7年度末に**全体の86%が完了**。



◆浜通り地方の縦軸の常磐自動車道と横軸の**相馬福島道路**(R3.4月開通)や**小名浜道路**(R7.8月開通)が接続し**広域的な道路ネットワークの強化**が図られました。

### ふくしま復興再生道路の整備(8路線29工区)

- 国道114号 ●国道288号 ●国道349号 ●国道399号
- 原町川俣線 ●小名浜道路 ●小野富岡線 ●吉間田滝根線



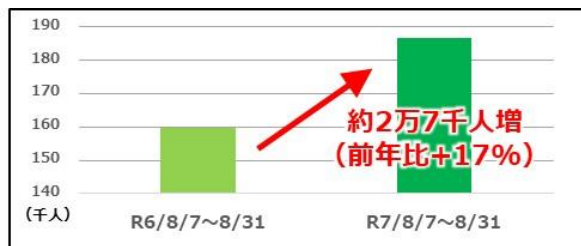
## (1)「第2期復興・創生期間」の復興事業

### ○小名浜道路(令和7年8月開通)の整備効果(P.1~3)



	整備前	整備後	短縮効果
いわき湯本IC ⇔小名浜港	29分	13分	16分短縮
いわき勿来IC ⇔小名浜港	30分	13分	17分短縮

小名浜道路開通による走行時間の短縮効果



道の駅 いわき・ら・ら・ミュウの8月の入込客数

- ◆小名浜道路の開通により、小名浜港からの移動時間が短縮されたことで、小名浜港と内陸部とのアクセスが強化され、**小名浜港からの90分圏域の移動可能範囲が会津若松市まで拡大。**
- ◆小名浜港に継続的に寄港する国内外のクルーズ船乗客の観光周遊ルートの**選択肢が増加。**



## (1)「第2期復興・創生期間」の復興事業

### ○只見川河川改修、国道252号本名バイパス(P.9～10)



国道252号 冠水状況

◆平成23年7月27日から30日にかけて福島県会津を中心に記録的な大雨となりました。特に、28日から30日にかけて前線が停滞し、会津西部に位置する只見町の観測所では、4日間の総降水量が711.5mmに達し、只見川（只見町～会津坂下町）では堤防等が決壊し家屋が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

【只見川河川改修・国道252号本名バイパス】



◆本名地区は、付近に代替路線がないことから、**築堤により洪水被害を軽減**するとともに、トンネル等の**バイパス整備により安全で円滑な通行が確保**され、**魅力ある奥会津地域**として**観光客が増加**しています。

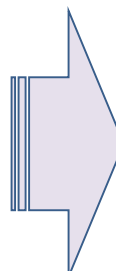


◆湯倉地区は、平成23年7月の新潟・福島豪雨時に家屋等の浸水被害を受けました。

このため、**築堤により、洪水時の浸水リスクを低減**し、令和5年6月の梅雨前線による大雨の際にも**浸水被害はありませんでした**。

◆水沼地区は、新潟・福島豪雨時に道路が冠水し、大きな迂回が生じました。

このため、**道路のかさ上げにより、浸水被害を受けない安全・安心な通行**を確保しました。



## (1)「第2期復興・創生期間」の復興事業

### ○井手長塚線 長塚工区の整備(P.11~12)



◆令和7年8月に長塚跨線橋が開通し、JR常磐線東西のアクセス性が向上し、JR双葉駅周辺における「**新たな生活の場**」の確保や「**既成市街地の再生**」を後押しします。



◆双葉町に整備した福島再生賃貸住宅と合わせて、**住民帰還や交流の促進、にぎわい創出**に寄与しています。

◆双葉町主催の「双葉町はたちを祝う会」に参加された皆様に「**双葉町復興への想い**」を綴っていただき、施工中の橋の上で記念撮影を行いました。

### ○水門・陸閘の整備(P.13)

◆東日本大震災を踏まえ、津波警報発令時に安全かつ確実に水門等を閉鎖するため、**閉門の自動化及び遠隔操作監視システム**を整備しました。



◆令和7年7月のカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報時にも、水門・陸閘の自動閉門機能が動作し、**津波到達までに閉門が完了**し、津波が河川を遡上するのを防ぎました。

## (2)「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」

### ○既存施設の老朽化対策(P.44～45)

◆必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施。



### 既存施設の長寿命化！



### ○橋梁の耐震補強対策(P.47)

- ◆落橋や橋脚の倒壊等を防ぐため、橋台の桁受部の拡幅や橋脚の補強を実施。
- ◆耐震性能の強化により、大規模地震後においても円滑な交通機能の確保が可能に。



### 《 対策状況 》



### ○下水道管渠の耐震化(P.72)

- ◆耐震診断調査において耐震性能不足と診断された下水管渠の耐震化を計画的に進めています。
- ◆道路交通状況や住民生活への影響を考慮し、**下水道を供用させながら**管の耐震性能の向上を図る管更生の工法を選定しています。

【before】 管更生前



【after】 管更生後(令和7年8月)



# 目次

## 「第2期復興・創生期間の復興事業」、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」

<小名浜道路（いわき市）>	小名浜港と常磐自動車道を直結し、いわき地域の産業・観光振興に貢献	1
<吉間田滝根線 瀬原工区（小野町・田村市・いわき市）>	相双地区と県中・県南地区を結ぶ道路網の整備により、帰還促進や広域交流・物流の活性化を支援	4
<国道114号 山木屋工区（川俣町）、浪江拡幅（浪江町）>	広域交流・物流の活性化や沿線地域の振興を支援	5
<原町川俣線 八木沢トンネル、下高平工区（南相馬市）>	急カーブ連続区間の解消による広域交流活性化、交流人口の拡大を支援	7
<只見川、本名BP、水沼BP（金山町）>	河川改修と道路整備による安全・安心の確保と奥会津地域の地域振興を支援	9
<井手長塚線 長塚工区（双葉町）>	復興まちづくりと合わせた道路整備により、住民の帰還や移住・定住を促進	11
<水門、陸開（いわき市）>	水門・陸開の自動化による安全・安心の確保	13
<国道118号 鳳坂工区（天栄村）>	道路整備により冬期交通・救急医療と地域連携を支える	14
<国道401号 博士峠（会津美里町、昭和村）>	冬期交通と救急医療を支え、地域振興の活性化を支援	16

## 復興まちづくり

<新地駅周辺地区（新地町）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	17
<原釜・尾浜地区（相馬市）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	19
<四倉地区（いわき市）>	多重防御による防災力の高いまちづくりを実現	21

## 生産拡大

<国道349号 大綱木工区（川俣町）>	避難地域の復興・再生を支える「ふくしま復興再生道路」	23
<国道289号 田島バイパス（南会津町）>	交通混雑の緩和による中心市街地の活性化を支援	24
<国道294号 白河バイパス（白河市）>	観光振興や広域的な物流の活性化を支援	25
<国道349号 梁川バイパス（伊達市）>	広域的な交流や物流の活性化を支援	26
<国道288号（野上小塚工区（大熊町）>	住民帰還の促進や広域的な交流・物流を支えるふくしま復興再生道路	27
<小野富岡線小白井工区（いわき市）>	ふくしま復興再生道路の整備により県中・相双地方の物流やネットワークを強化	28
<国道399号十文字・戸渡工区（いわき市）>	地域医療や産業振興、広域的な物流を支えるふくしま復興再生道路	29
<国道294号豊地工区（白河市）>	道路整備より物流の効率化や安全・安心な通勤・通学を支える	30
<ふくしまインフラツーリズム推進事業>	観光交流の拡大を通じてインフラへの理解促進を図る	31
<あぶくま高原道路>	物流・生産活動を支える自動車専用道路 沿線に企業が進出、雇用を創出	32
<会津縦貫北道路>	会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消	33
<会津縦貫南道路>	南会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消	34
<県内10漁港>	浜通りの水産業の復興を支援	35
<相馬港（相馬市、新地町）>	福島・宮城・山形を包含した広域経済圏を支える海の玄関口の整備	37
<小名浜港（いわき市）>	国際バルク戦略港湾小名浜港を拠点とした石炭海上輸送の効率化を推進	38
<小名浜港大剣ふ頭コンテナターミナル（いわき市）>	効率的なコンテナ貨物の荷役を実現	39
<日橋川十六橋水門（会津若松市・猪苗代町）>	歴史的建造物の保存と観光資源としての活用	40

## 安全・安心

<県代行事業 金山町道 中川大栗山線（金山町）>	市町村の課題解決に向けた支援	41
<国道118号 小沼崎バイパス（下郷町）>	リダンダンシーを確保し災害に強い強靱な道路ネットワーク	42
<県道いわき石川線 才鉢工区（いわき市）>	自然災害に脆弱な道路のバイパス化により緊急輸送路の通行を確保	43
<国道288号 原歩道橋（郡山市）>	既存施設の老朽化対策と適切な維持管理による道づくり	44
<県道浪江鹿島線 北台木橋（南相馬市）>	既存施設の長寿命化と適切な維持管理による道づくり	45

# 目次

<県道母畑白河線 木ノ内前工区（泉崎村）>	歩道整備により歩行空間を確保し、通学児童の安全性を向上	46
<上名倉飯坂伊達線王寺橋（福島市）>	令和4年3月発生の福島県沖地震における橋梁の耐震補強対策の効果	47
<県道郡山湖南線三森工区（郡山市）>	道路整備により安全な通行と地域間交流・物流を支える	48
<夏井川（いわき市）>	台風13号豪雨における河川改修事業効果	49
<宇多川（相馬市）>	災害復旧助成事業の効果（台風13号）	50
<大森川（福島市）>	令和元年東日本台風以降の河川改修事業効果	51
<藤原川（いわき市）>	台風及び豪雨における河道掘削事業効果	52
<広瀬川（伊達市）>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る【防災・減災、国土強靱化対策】	53
<濁川（福島市）>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る【令和元年東日本大雨からの復旧】	54
<谷田川（郡山市）>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る【防災・減災、国土強靱化対策】	55
<社川（白河市）>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る【令和元年東日本大雨からの復旧】	56
<湯川（会津若松市）>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る【防災・減災、国土強靱化対策】	57
<田付川（喜多方市）>	浸水被害から地域住民の安全・安心な暮らしを守る【防災・減災、国土強靱化対策】	58
<右支夏井川（小野町）>	河川改修による市街地の安全・安心と親水性を向上	59
<五百川（本宮市）>	河川の堤防を補強し、越水時の侵食から堤防を保護	60
<只見川（只見川沿川地域）>	平成23年7月新潟・福島豪雨からの復旧 洪水から地域の安全・安心を守る	61
<駒谷（いわき市）>	土砂災害から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保	62
<東八川 砂防堰堤（福島市）>	土砂災害から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保	63
<飯根沢砂防堰堤（西会津町）>	土砂災害から命や財産を守り、地域の安全・安心を確保！	64
<道の駅猪苗代（猪苗代町）>	広域的な防災拠点としての役割を担う「道の駅」	65
<松川浦漁港（相馬市）>	令和4年3月発生の福島県沖地震における漁港の機能強化対策済み岸壁の効果	66
<小玉ダム 木戸ダム（いわき市 檜葉町）>	台風13号豪雨におけるダムの洪水調節機能	67
<千五沢ダム（石川町）>	ダムの再開発により、洪水から地域を守る！	68
<県内11ダム>	ダムの事前放流により洪水調節機能を強化	69
<福島空港（須賀川市、玉川村）>	東日本大震災時において救難救助の拠点として活用	70
<県北浄化センター 耐水化事業（国見町）>	耐水化により、水害時でも下水処理場の機能を維持	71
<下水道管渠 耐震化工事（福島市）>	下水道管渠を耐震化し、地震時の下水道機能を確保	72

## 生活の質の向上

<都市計画道路 中央線外（伊達市）>	街路整備により伊達市梁川町の中心市街地の活性化に貢献	73
<国道399号 ほこみち（いわき市）>	ほこみち制度を活用した賑わいのある道路空間の構築	74
<花園さくらパーク（棚倉町）>	観光名所「花園じだれ桜」を訪れる方々の安全と快適のために	75
<(都)白河駅白坂線（白河市）>	メインストリートの整備による中心市街地の活性化に貢献	76
<(都)平磐城線小名浜工区（いわき市）>	県内有数の観光地小名浜のさらなる活性化に貢献	77
<蔵庭（ポケットパーク）（喜多方市）>	“くらにわ”が地域の賑わいをつなぎ蔵の街なみにゆとりとふくらみを創出！	78
<芦ノ牧温泉（会津若松市）>	ポケットパークのリニューアルによる温泉街の魅力向上！	79
<小川地区ポケットパーク整備（いわき市）>	道路工事で生まれる空地を地域の交流スペースとして活用！	80
<あづま総合運動公園（福島市）>	健康増進や癒し、豊かな暮らしを提供	81
<四時ダム（いわき市）>	民間活力を活用した既存ダムの水力発電により環境負荷を低減！	82
<県営住宅内部改善事業>	県営住宅のリフォームによる長寿命化と居住性の向上	83



至 いわき添野IC

常磐山田橋

至 いわき山田IC

いわき小名浜IC  
料金所

常磐自動車道

長沢ランプ橋

### 県道いわき上三坂小野線 小名浜道路(いわき市)

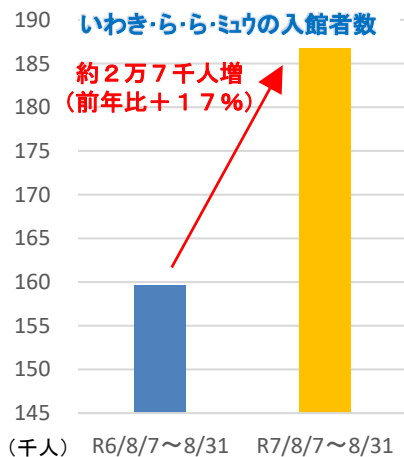
【令和7年8月開通】上空よりいわき小名浜ICを望む



△令和7年8月7日 開通式

【効果1】常磐自動車道を含む広域的な道路網の整備により、**広域的な交流や物流が活性化**

■常磐自動車道といわき市小名浜地域間の**所要時間が大幅に短縮**されることで、小名浜港を拠点とした**物流機能の強化**、**新たな企業の進出**、**交流人口の拡大**等が期待される。また、大規模災害時等における**円滑な緊急輸送が可能**となるとともに、**広域的な交流や物流の活性化**が期待されます。



	整備前	整備後	短縮効果
いわき湯本IC⇄小名浜港	29分	13分	16分短縮
いわき勿来IC⇄小名浜港	30分	13分	17分短縮

【効果2】高規格な道路を利用することにより**救急搬送等が改善**

・小名浜道路を利用することで、現道の渋滞や交差点を回避することが可能となり、**救急搬送における時間短縮**が図られる。

【いわき市消防本部】  
◆ 従来よりも最大12分ほど病院までの搬送時間が短縮されました。走行性も良く、患者の負担が小さくなりました。



## 【効果3】陸海交通の広域的なネットワーク形成による 物流機能の強化

・小名浜道路により、小名浜港と常磐自動車道が自動車専用道路にて接続されることで、**物流機能の強化**が期待される。



## 【効果4】広域的な道路網の形成による 災害時の緊急輸送の確保

・小名浜道路により、防災計画上の物資受入港である小名浜港と既存の高速道路網が自動車専用道路で直結し、大規模災害時において、被災地への**迅速な緊急物資輸送**が図られる。

### 【いわき市消防本部】

- ◆ 大規模災害発生時の広域的な応援要請において、小名浜道路の利用を計画している。
- ◆ 災害時に臨港部から内陸部へ避難する際の新たなルートとしての活用が期待される。
- ◆ 県内だけでなく、県外からの応援要請においても、重要なルートとして利用を見込んでいる。



## 【Topic1】東京駅～小名浜港間の高速バス路線新設

- ・新常磐交通株式会社では、小名浜道路開通を受け、2025年10月1日から東京駅～小名浜を土日祝日に2往復する**路線を新設**しました。
- ・首都圏から小名浜地域へのアクセス性が向上し、**観光交流人口のさらなる増加**が期待できます。

## 【Topic2】クルーズ船のオプションルターの強化

- ・2025年4月27日、外航クルーズ船「リビエラ」が小名浜港に寄港しました。
- ・小名浜道路の開通により、会津地域や中通り地域といった県内内陸部への移動時間が短縮されるため、**観光可能圏が拡大**します。
- ・小名浜港を発着地とした県内の**観光交流人口のさらなる増加**が期待できます。



## 【Topic3】小名浜地域への企業の新規進出、 設備拡大

- ・小名浜臨海工業団地へ**企業の新規進出**や**設備拡大**の動きが確認されています。



### 【企業からの声】

- ◆ 小名浜道路の開通を見越して、倉庫の拡張を行いました。
- ◆ 物流業界は、小名浜道路の開通を待ちわびていた。



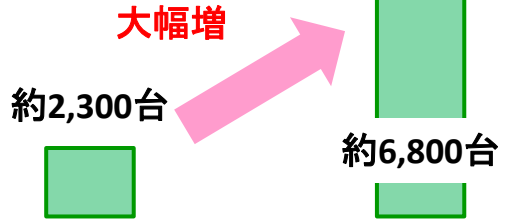
# 【Topic4】北の相馬福島道路と南の小名浜道路の整備による広域ネットワークの強化

## 相馬福島道路の開通による効果

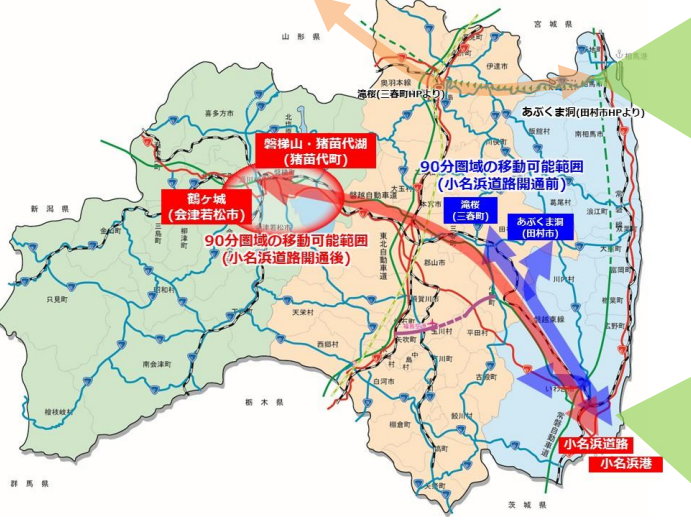
- ・相馬福島道路の開通により、相馬市内の観光施設では山形県・福島内陸部からの来訪者が増加
- ・相馬福島道路の開通を機に、相馬港に進出する企業が増加



相馬福島道路全線開通後の交通量の推移



全線開通後の交通量は、震災前と比較し、約3倍！



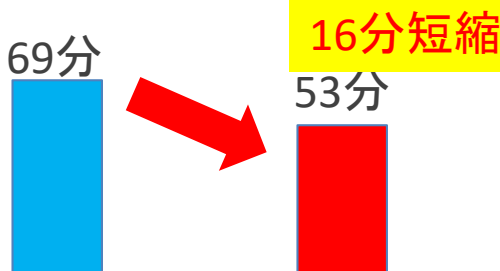
## 北の相馬福島道路と南の小名浜道路の整備による東西の連携強化

【沿岸部と内陸部の連携を活かした産業振興】

- ・道路ネットワークの形成による周遊観光の幅が広がります。
- ・交流人口の拡大や観光振興の大きな後押しになります。

### 相馬福島道路の開通による時間短縮効果

相馬市役所⇄福島市役所の所要時間の変化

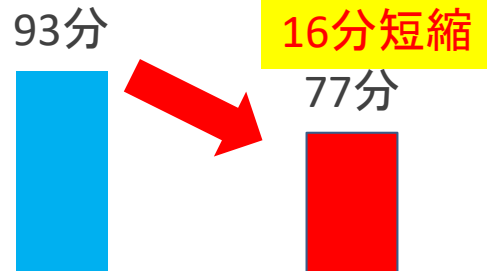


未整備時

開通後

### 小名浜道路の開通による時間短縮効果

小名浜港⇄郡山市役所の所要時間の変化



未整備時

開通後



八反田トンネル



こまち大橋

県道吉間田滝根線 広瀬工区  
(小野町・田村市・いわき市)  
【令和6年4月開通】

至 平田IC

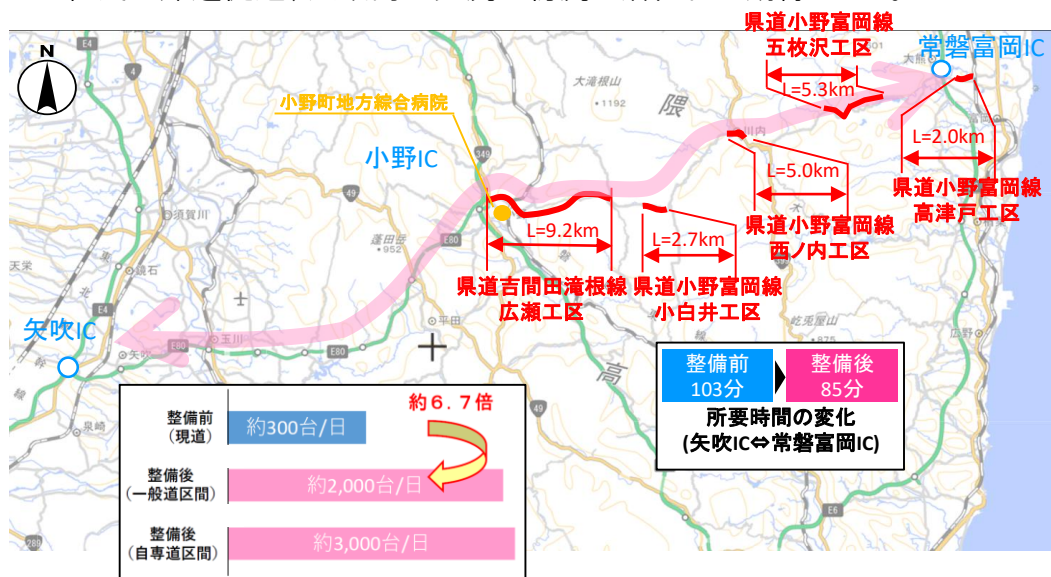
上空より吉間田滝根線広瀬工区(小野IC)を望む



▲令和6年4月13日 開通式

【効果1】県道小野富岡線やあぶくま高原道路を含む道路網の整備により広域的な交流や物流が活性化

■現道の矢大臣山前後の急峻で狭隘な区間や小野町中心市街地の急カーブ、狭隘区間に伴う大型車通行規制区間を解消することで、相双地域と県中・県南地域を結ぶ道路網が整備され、住民の帰還促進、広域的な交流や物流の活性化が期待される。



【沿線の観光施設や企業の声】

◆ 通勤時間が半分に、従業員の負担が大幅に軽減されました。特に冬季の安全性向上を感じています。

- ◆ 案内がとても簡単になり、旅行者への営業もしやすくなりました。
- ◆ 移動が容易になったことで来客者の生活圏が広くなり、利用者が増えています。



【効果2】公立小野町地方総合病院へのアクセスが向上し、救急搬送等が改善

・現道の狭隘区間を回避することで、川内村から小野町地方総合病院までの搬送時間が短縮され、被災地の医療環境が向上することが期待される。

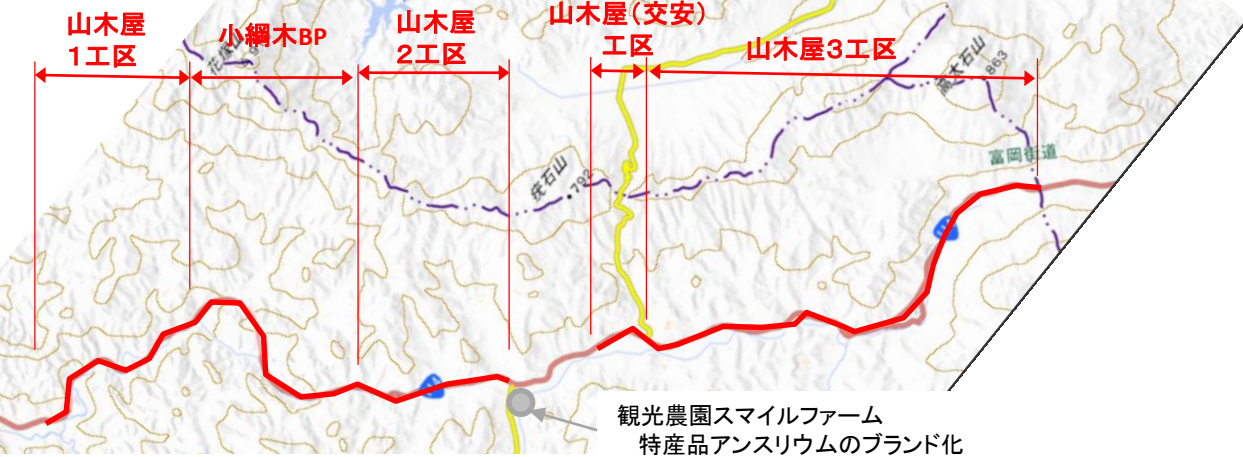
【富岡消防署川内出張所】

◆ 吉間田滝根線開通により、搬送時間が大幅に短縮されるとともに、患者の負担軽減にも繋がっています。



# 復興事業

## 避難地域の復興・再生を支える 「ふくしま復興再生道路」



## 「ふくしま復興再生道路」 国道114号



【効果1】 道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消し、広域的な交流や物流を支える

## 国道114号 山木屋工区 (川俣町)



▲令和5年3月21日 完成式

■ 道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消することで、

相双地域と県北地域を結ぶアクセス性が向上し、広域的な交流や物流の活性化を支援する。

【before】整備前



【after】整備後



【効果2】 産業の再生や観光の振興、生活環境の再生を支える

■川俣町は、震災以降、山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」や西部工業団地の整備、新たな特産品アンスリウムのブランド化など復興・再生に向けた取組を進めている。これらの取組を大きく後押し、**産業の再生**や**生活環境の再生**を支援する。

また、近隣の観光施設への入込客数も年々増加しており、道路整備により**アクセス性が向上し**、**地域の観光振興**を支援する。

<観光農園スマイルファームの入込客数>

(人)	R4	R5	R6
観光農園利用者数	5,000	7,000	10,000

【効果3】 交通量の増加による、沿川地域の振興

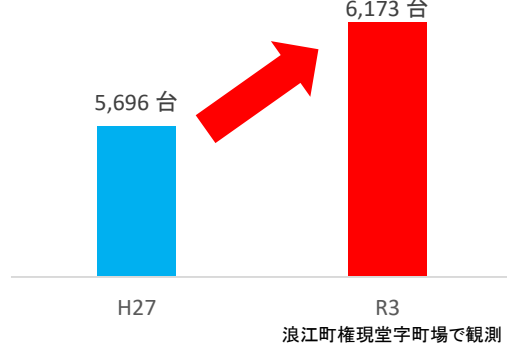
国道114号 浪江拡幅  
(浪江町)



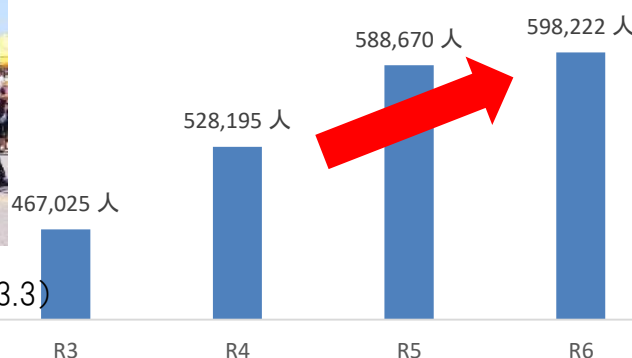
■令和3年3月の道の駅オープン以降、**浪江町**の**新たな観光拠点**として**交流人口が拡大**しています。

■国道114号の道路拡幅により、**常磐道(浪江IC)**への**アクセス性が向上し**、浪江町の復興を支援。

国道114号 交通量推移

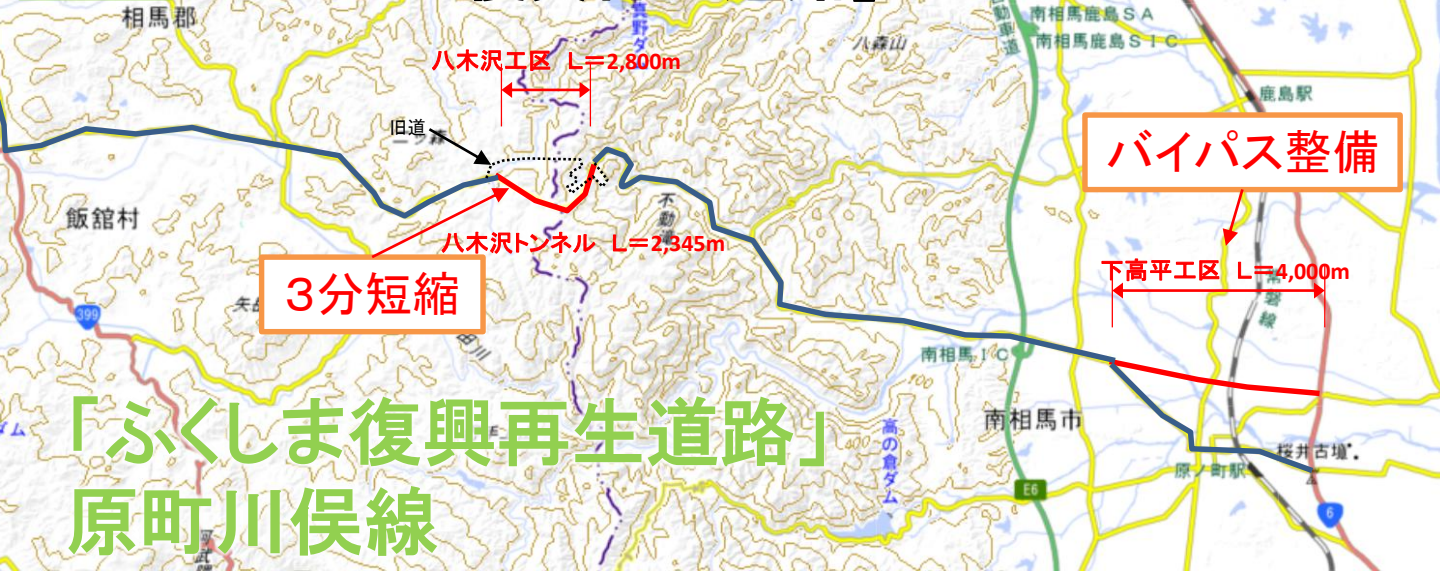


道の駅なみえ 観光入込客数



入込客数、交通量ともに、道の駅なみえのグランドオープン(R3.3)以降、年々増加傾向！

# 避難地域の復興・再生を支える 「ふくしま復興再生道路」



## 「ふくしま復興再生道路」 原町川俣線

【効果1】トンネル整備により、急カーブ連続区間を解消し、冬期においても安全に通行が可能になった。



■急勾配や急カーブを解消することで、相双地域と県北地域を結ぶアクセス性が向上し、広域的な交流や物流の活性化に寄与。



急カーブ・急勾配等に加え、冬期間においては、しばしば交通障害が発生していた。

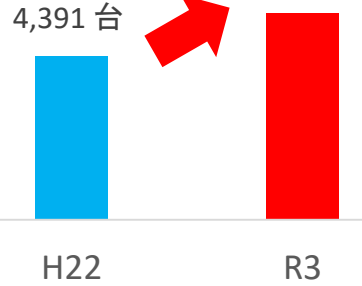
【効果2】 交流人口の拡大(観光・地域振興)

■八木沢トンネルの開通以降、道の駅の利用者数は増加傾向。  
原町川俣線の**アクセス性が向上**し、復興に貢献しています。

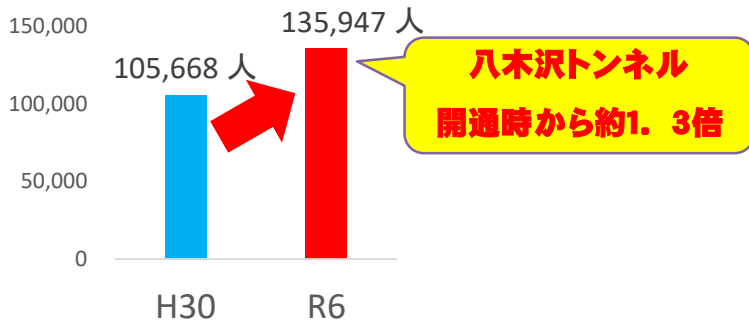


▲道の駅「いたて村の道の駅までい館」(平成29年8月完成)

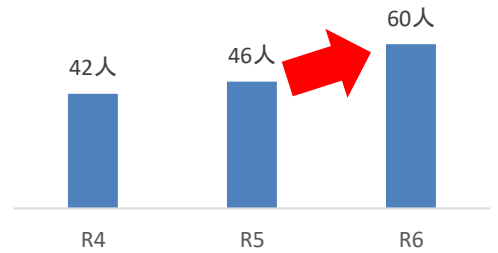
原町川俣線 交通量推移  
5,545 台



道の駅の観光客入込客数(人)



原町駅前～までい館～福島駅前  
バス1日当たりの利用者数(人)



【効果3】 バイパスを整備することにより、市内の渋滞の緩和やアクセスを強化します。

下高平工区(南相馬市)



■「福島イノベーション・コースト構想」の関連施設である福島ロボットテストフィールドなどへのアクセスが強化



# 河川改修と道路整備による 安全・安心の確保と奥会津地域の地域振興

## 只見川河川改修、 国道252号本名バイパス、 水沼工区(金山町)



平成23年7月の新潟・福島豪雨時 通行止め区間

国道252号 水沼工区

上田ダム

会津水沼

金山町

会津中川駅

金山町

沼沢湖

国道252号 本名バイパス

本名駅

河川改修  
(湯倉地区)

①

③

河川改修  
(橋立地区)

④

野尻川



### 平成23年7月新潟・福島豪雨

平成23年7月27日から30日にかけて福島県会津を中心に記録的な大雨となりました。特に、28日から30日にかけて前線が停滞し、会津西部に位置する只見町の観測所では、4日間の総降水量が711.5 mmに達し、只見川(只見町～会津坂下町)では堤防等が決壊し家屋が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。





＜トンネル等のバイパス整備＞

本名地域は、付近に代替路線がないことから、築堤により洪水被害を軽減するとともに、トンネル等のバイパス整備により安全で円滑な通行が確保され、魅力ある奥会津地域として観光客が増加しています。

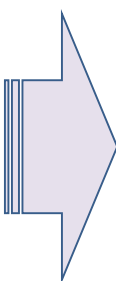
【只見川河川改修事業】洪水から地域の安全・安心を守る！

橋立地区・湯倉地区は、平成23年7月の新潟・福島豪雨時に家屋等の浸水被害を受けました。このため、築堤により、洪水時の浸水リスクを低減しました。



【国道252号水沼工区】道路のかさ上げにより、浸水被害を受けない安全・安心な通行を確保。

水沼地域は、新潟・福島豪雨時に道路が冠水し、大きな迂回が生じました。このため、道路のかさ上げにより、浸水被害を受けない安全・安心な通行を確保しました。



# 復興シンボル軸の整備により 魅力ある町の復興を支える



## 井手長塚線 長塚工区 (双葉町)

至 福島市

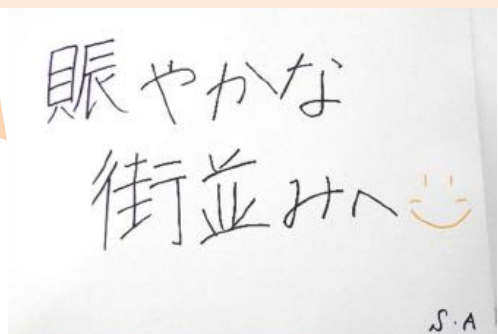
【効果1】復興まちづくりと合わせた道路整備により、住民の帰還や移住・定住を促進

<双葉町の帰還状況>  
帰還者数:82人 転入者数:103人 ※令和7年7月1日時点



令和7年8月に長塚跨線橋が開通し、JR常磐線東西のアクセス性が向上し、JR双葉駅周辺における「新たな生活の場」の確保や「既存市街地の再生」を後押しします。

双葉町主催の「双葉町はたちを祝う会」に参加された皆様に「双葉町復興への想い」を綴っていただき、施工中の橋の上で記念撮影を行いました



▲施工中の長塚跨線橋での記念撮影

▲双葉町復興への想いを綴ったパネル

## 【効果2】町の活性化

双葉町に整備した福島再生賃貸住宅と合わせて、**住民帰還や交流の促進、にぎわい創出**に寄与しています。

JR双葉駅



双葉町駅西地区全景



路地を中心に住棟を配置



玄関の土間空間

双葉町駅西住宅では、入居者同士のコミュニティを醸成するため、住棟の間に路地を効果的に配置するとともに、交差する箇所には、人々が集い交流できる軒下空間を設けています。

各住戸には、趣味の場として活用できる土間空間を設けるなど、入居者が生き生きと暮らせる工夫を施しています。

最終工区が令和6年5月に完成し、6月に全86戸の入居が始まり、駅西地区の**にぎわい創出**に寄与しています。



▲入居者の交流を生む軒下空間



▲駅西住宅集会所前で行われた夏祭り

## 【効果3】常磐双葉ICからの双葉町復興拠点へのアクセス性向上

中野地区復興産業拠点、東日本大震災・原子力災害伝承館への**アクセス性が向上**し、**企業立地**や**交流人口拡大**により、**双葉町の復興の促進**が期待される。



中野地区復興産業拠点では、令和7年7月時点で25件の立地協定が締結。

東日本大震災・原子力災害伝承館では、令和7年8月に来館者が40万人に到達。



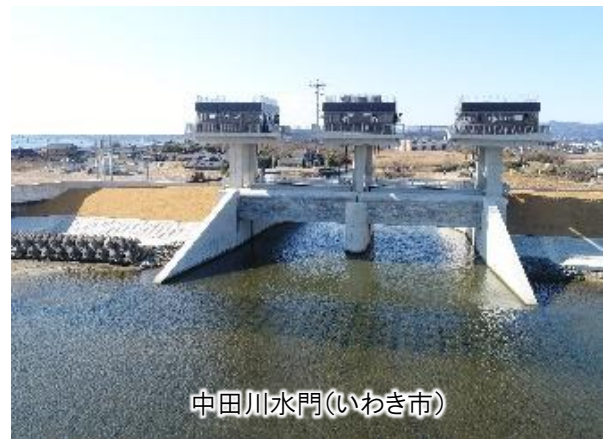
# 水門や陸閘整備による安全・安心の確保

## 閉門操作を人力から自動化へ

平成23年3月11日の東日本大震災は、多くの人命や財産を奪いました。

河川や海岸部においては、津波到来時に水門や陸閘の閉鎖に行った消防団員が犠牲となり、水門の操作に関する問題が浮き彫りとなりました。

東日本大震災を踏まえ、津波警報発令時に安全かつ確実に水門等を閉鎖するため、**閉門の自動化**及び**遠隔操作監視システム**を整備しています。



## 【効果】自動で閉門し、津波の河川遡上を防いだ！

令和7年7月のカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報時にも、水門・陸閘の自動閉門機能が動作し、津波到達までに閉門が完了し、津波が河川を遡上するのを防ぎました。

8時25分  
地震発生

9時40分  
津波警報発令



11時4分  
第一波到達(小名浜)  
※最大波 0.6m

5分

9時45分  
水門閉門完了

**津波到達前に  
閉門完了**

25分

10時05分  
陸閘閉門完了

避難の猶予時間等を含め  
閉門までに20分程度要する

安全  
安心

# 道路整備により 冬期交通・救急医療と地域連携を支える



## 国道118号 鳳坂工区 (天栄村)

【令和4年11月完成】

至 下郷町



▲令和4年11月27日に開通した鳳坂工区

【課題】  
整備前

＜冬期間の交通障害発生状況＞



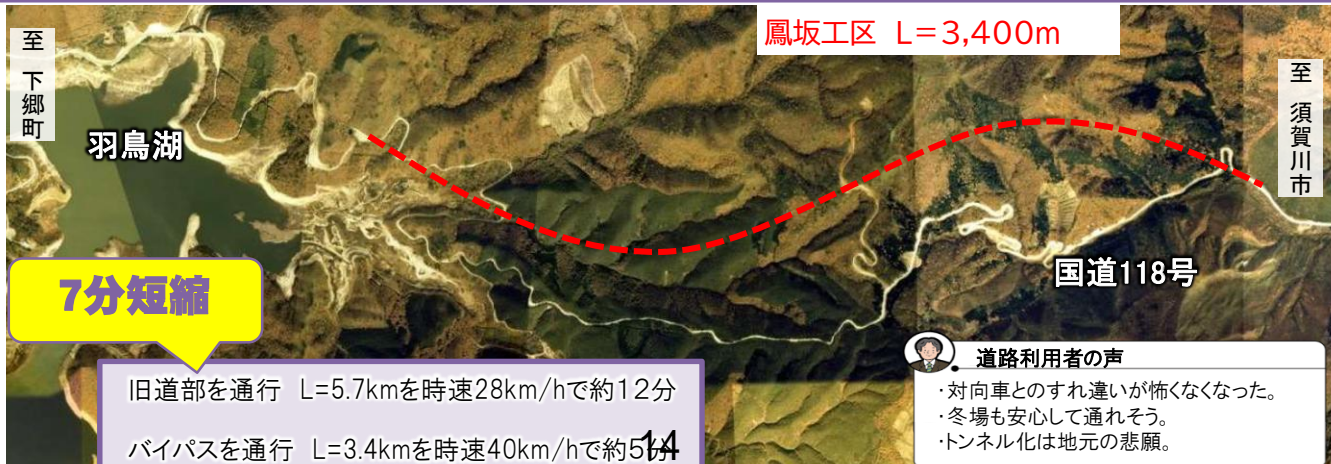
至 下郷町

＜急カーブ・急勾配箇所＞



至 須賀川市

【効果1】年間を通じた安全・安心な通行を確保。救急搬送時間の短縮。地域間の連携強化。



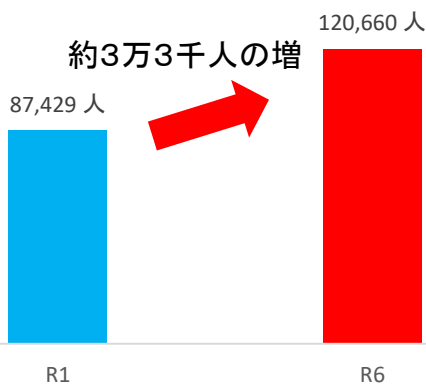
**【効果2】 道路整備により、交通量が増加し、交流人口が拡大しました。**

■平成20年に開通した国道289号甲子道路とあわせて、中通り地方から会津地方へ多くの観光客が訪れ、賑わいを見せています。

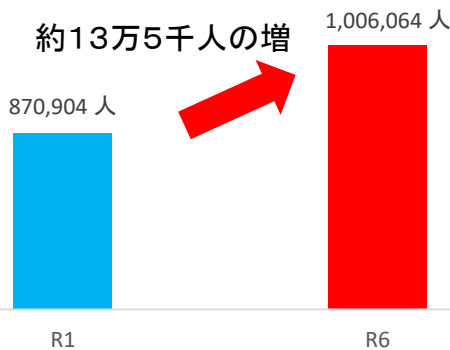
■整備を進めている会津縦貫南道路の完成により、さらなる交流人口の拡大が期待されます。



羽鳥湖の観光入込客数の推移



大内宿の観光入込客数の推移



安全  
安心

# 冬期交通の確保と 救急医療・地域連携を支える

至 昭和村



博士トンネル

## 国道401号 博士峠 (会津美里町・昭和村)

【令和5年度完成】

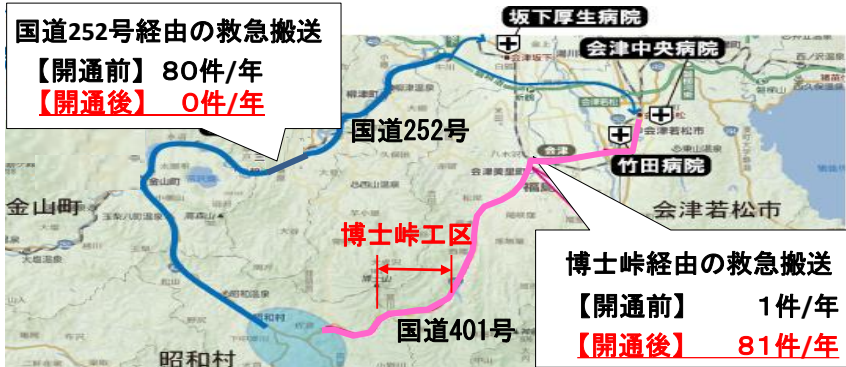


▲令和5年9月10日 開通式

【効果1】 道路整備により、救急搬送時間の短縮や搬送時における患者の負担が軽減

国道252号経由の救急搬送

【開通前】 80件/年  
【開通後】 0件/年



開通前：R4. 9～R5. 8、開通後：R5. 9～R6. 8 昭和村から搬送先まで博士峠/博士トンネルの通行が最短となる件数を集計。

博士峠経由の救急搬送  
【開通前】 1件/年  
【開通後】 81件/年

＜救急搬送時間＞

	整備前	整備後	短縮効果
通常期	66分	57分	9分短縮
冬期	104分	65分	39分短縮

昭和村から会津若松市内への救急搬送ルートが国道401号博士峠経由に転換。搬送時間が短縮、傷病者や隊員の負担が軽減。

【効果2】 周辺地域とのアクセス性が向上したことにより、会津地方の地域振興が活性化

道の駅からむし織の里しょうわ



喰丸小学校



道の駅の売り上げは開通前と比較して約2.3倍に増加。  
また、交流・観光拠点施設である喰丸小学校の来場者は開通前と比較して約5倍に増加。

【効果3】 冬期交通不能の解消により、年間を通して安定した交流や物流が可能

冬期間(約4ヶ月)は通行止めとなるため、昭和村から会津若松市へ行くには、国道252号を経由する必要があったが、冬期交通不能の解消により、年間を通して安全かつ円滑に通行が可能となった。



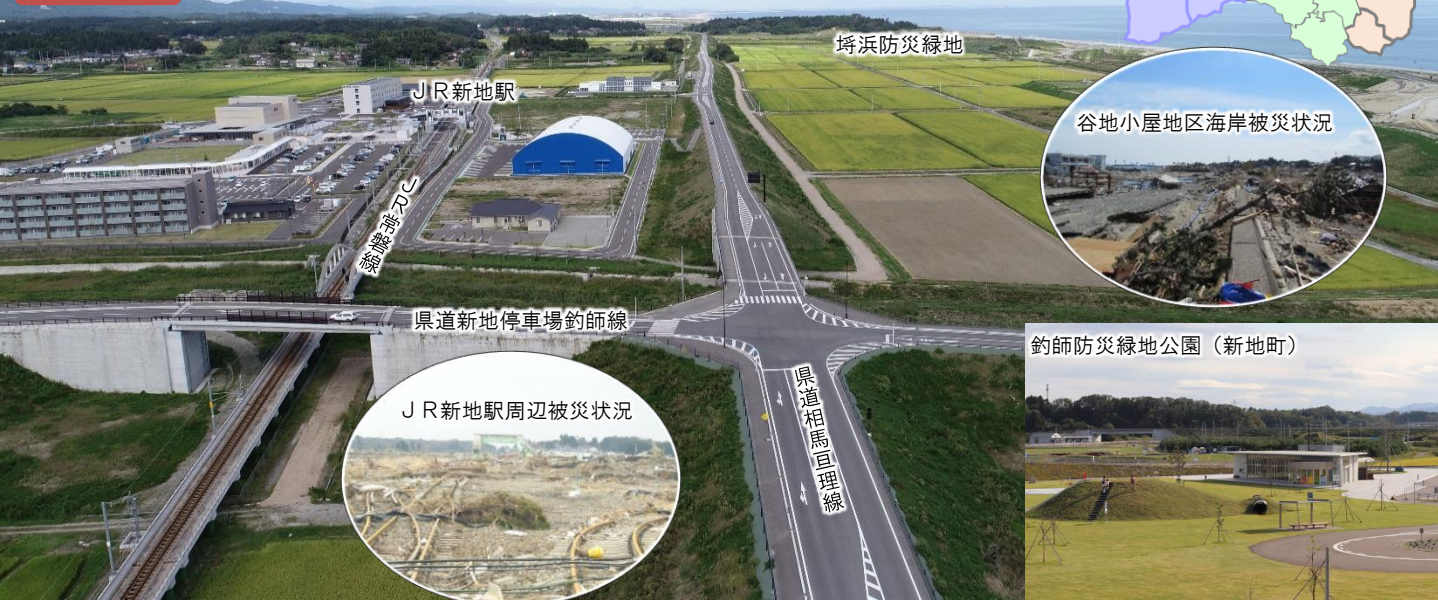
【整備前】



【整備後】

# 多重防御により防災力の高い まちづくりを実現

新地町



## 新地町新地駅周辺地区

(埼浜防災緑地、県道相馬互理線、谷地小屋地区海岸、釣師浜漁港等)

### 復興まちづくりのイメージ



### 復興まちづくりの基本的視点

- ① 命と暮らし最優先のまち
- ② 人と絆を育むまち
- ③ 自然と共生する海のあるまち

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】背後地において、土地区画整理事業により住宅用地を創出！

【効果3】埼浜防災緑地の背後地のJR新地駅周辺において新地町スマートコミュニティ事業(※)を展開！

(※)天然ガスや太陽光発電等の地産地消型エネルギーの利用を促進し、災害に強い持続可能なまちづくりを目指す取組



## 事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
埴浜防災緑地	防災緑地 L=1,400m,A=25.3ha	H24~H30	相双建設事務所
釣師防災緑地	防災緑地 A=18.1ha	H24~H31	【参考】新地町
木崎地区海岸	海岸災害復旧 L=1,373m	H23~H29	相双建設事務所
埴浜地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=546m	H23~H28	相馬港湾建設事務所
谷地小屋地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=974m	H23~H29	相馬港湾建設事務所
大戸浜地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=127m	H23~H28	相馬港湾建設事務所
釣師浜漁港	漁港災害復旧 N=32施設	H23~H30	相馬港湾建設事務所
三滝川	河川災害復旧 L=1,387m	H24~H28	相双建設事務所
砂子田川	河川改修 L=1,500m	H24~R2	相双建設事務所
濁川	河川災害復旧 L=1,247 m	H24~H27	相双建設事務所
県道相馬亘理線	道路改築工(5橋含む) L=3,500m	H24~H30	相双建設事務所

### 【Topic1】JR常磐線新地駅が再開通！

JR常磐線(相馬一浜吉田間)が、平成28年12月10日に5年9ヶ月ぶり再開通しました。

東日本大震災によりホーム・跨線橋を残して流出した新地駅について、旧駅舎から約300m陸(西)側に移設された新駅舎で営業を再開しました。

震災から5年9ヶ月ぶりに相馬地方と仙台市が鉄道で結ばれ、住民の利便性が高まり、被災地の復興の加速につながりました。



JR常磐線新地駅開通式 (H28.12)

### 【Topic2】釣師浜海水浴場が再開！

釣師浜海水浴場が、令和元年7月20日に東日本大震災による津波と東京電力福島第1原子力発電所事故の影響から9年ぶりに再開しました。

相双地域では、平成30年の原釜尾浜海水浴場に次いで2カ所目の再開となりました。

海水浴場周辺で開催された夏のお祭り「遊海しんち2025」には、約8,000人の来場者が訪れ、新地町の夏を楽しみました。



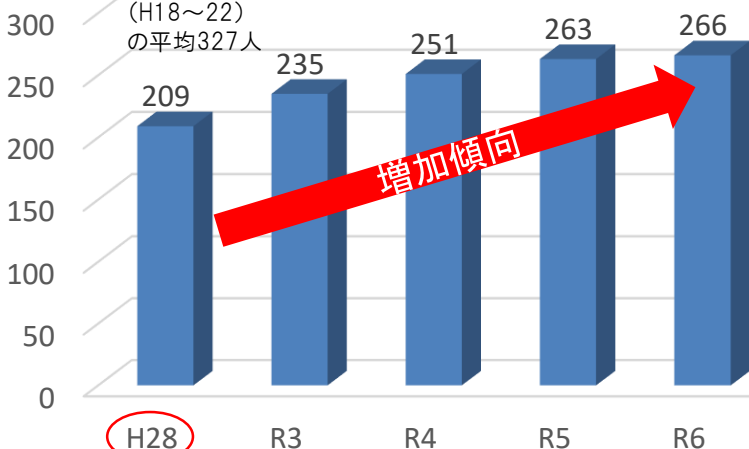
遊海しんち2025 (R7.8)

### 【参考】JR新地駅乗車人員の推移

1日平均乗車人員(人)

【参考】

震災前5年間  
(H18~22)  
の平均327人



JR新地駅再開通  
(H28.12)

※JR東日本HPより

### 【Topic3】新地地方卸売市場が再開！

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた釣師浜漁港で令和2年12月4日、新地地方卸売市場が約10年ぶりに再開しました。これまでの相馬市原釜の市場への陸送が解消され、水産業の活性化が期待されます。



新地地方卸売市場再開(R2.12)

復興  
まち

# 多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



## 相馬市原釜・尾浜地区

(原釜尾浜防災緑地、県道相馬亘理線、松川大洲地区海岸、松川浦漁港等)

### 復興まちづくりのイメージ



### 復興まちづくりの基本的視点

- ①観光産業に配慮したまちづくり
- ②新たな地域社会の再構築
- ③新たな災害から人命や財産を守る

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】漁港の復旧により、水産業の復興を支援！



【効果3】海岸や道路の復旧により、松川浦(県立自然公園)の景観を再生し、観光を支援！



# 事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
原釜尾浜防災緑地	防災緑地 L=1,600m,A=13.7ha	H24~R2	相双建設事務所
大浜地区海岸	海岸災害復旧 L=5,213.1m	H23~H29	相双建設事務所
松川大洲地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=1,639.0m	H23~H30	相馬港湾建設事務所
尾浜地区漁港海岸	海岸災害復旧 L=387m(無堤区間59m含む)	H23~H29	相馬港湾建設事務所
原釜地区港湾海岸	海岸災害復旧 L=1,630m(無堤区間299m含む)	H23~H30	相馬港湾建設事務所
松川浦漁港	漁港災害復旧 N=74施設	H23~H31	相馬港湾建設事務所
小泉川	河川災害復旧 L=1,000m	H23~H28	相双建設事務所
宇多川	河川災害復旧 L=1,500m	H23~H29	相双建設事務所
県道相馬亘理線	道路改築工 L=2,000m	H24~H31	相双建設事務所

## 【Topic1】相馬復興サイクリング大会が開催！

平成30年9月30日に「第1回相馬復興サイクリング大会」が開催されました。津波により道路が被災し、7年間通ることができなかった海沿いの「大洲松川線」が復旧したことにより、コースの一部となりました。



第1回の様子(H30.9)



第2回の様子(R1.5)



## 【Topic2】原釜尾浜海水浴場が再開！

原釜尾浜海水浴場が、平成30年7月21日に東日本大震災による津波と東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から8年ぶりに再開しました。



原釜尾浜海水浴場再開(H30.7)

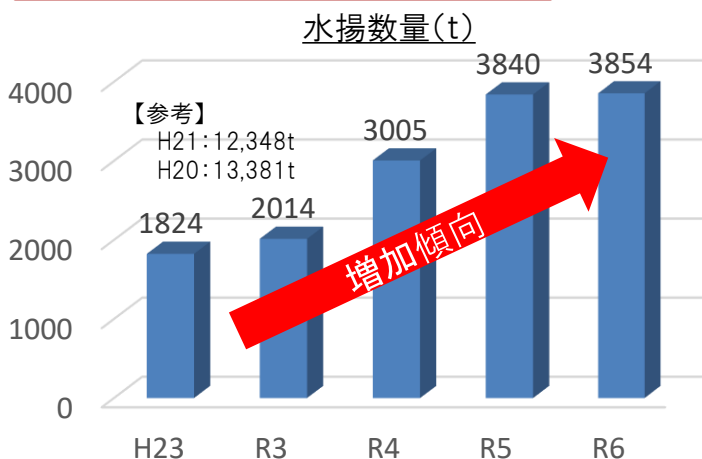
## 【Topic3】約6年ぶりに松川大橋のライトアップが再開！

東日本大震災の津波で流出した照明装置が復旧した松川浦大橋で、平成29年4月15日にライトアップが再開し、通行も可能となりました。



約6年ぶりに点灯した松川浦大橋ライトアップ(H29.4)

## 【参考】松川浦漁港の陸揚量の推移



※福島県海面漁業漁獲高統計20

## 【Topic4】浜の駅松川浦がオープン！

松川浦漁港には、「浜の駅松川浦」がオープンしました。常磐自動車道や東北中央自動車道「相馬福島道路」などの道路網を活用し、年間を通じて交流人口が拡大しています。



相馬復興市民市場「浜の駅松川浦」(R2.10グランドオープン)

復興  
まち

# 多重防御により防災力の高い まちづくりを実現



## いわき市四倉地区

(四倉防災緑地、県道豊間四倉線、仁井田地区海岸、四倉漁港等)

### 復興まちづくりのイメージ



### 復興まちづくりの基本的視点

- ① 災害に強い地域づくり
- ② 「道の駅よつら港」を復興シンボルとした再生
- ③ 海浜レクリエーション地域の整備

【効果1】防災緑地の整備により東日本大震災時と同じ津波が発生しても、津波の勢いを弱め、逃げる時間を確保！レクリエーションや、自然とのふれあいの場としても活用！

【効果2】四倉漁港の背後地において、復興のシンボルとして「道の駅よつら港」が再生！



【効果3】JR四ツ倉駅西側において、被災者向けの住宅を供給！



復興公営住宅(四ツ倉団地)



災害公営住宅(四ツ倉団地)



# 事業概要

事業種別	事業内容	事業期間	事業者
四倉防災緑地	防災緑地 L=1,500m,A=4.9ha	H24~H30	いわき建設事務所
仁井田地区海岸	海岸災害復旧等 L=3,108m 離岸堤 L=700m	H24~H29	いわき建設事務所
四倉漁港海岸	海岸災害復旧等 L=2,333m 離岸堤、樋門等	H24~H30	小名浜港湾建設事務所
四倉漁港	漁港災害復旧等 漁港内施設(防波堤、物揚場等)	H23~H30	小名浜港湾建設事務所
仁井田川	河川災害復旧 L=834m	H25~H28	いわき建設事務所
県道豊間四倉線	道路改築工(東舞子橋含む) L=938m	H24~H31	いわき建設事務所

## 【Topic1】道の駅よつくらが防災機能を強化し再オープン！

平成24年8月11日に「道の駅よつくら港交流館」の新館が完成しました。同館は、平成23年4月には被災した建物一部を利用し営業を再開し、平成24年1月には仮設大型 TENT を構え、仮営業していましたが、防災機能を強化して再オープンしました。



道の駅よつくら港の再オープン(H24.8)

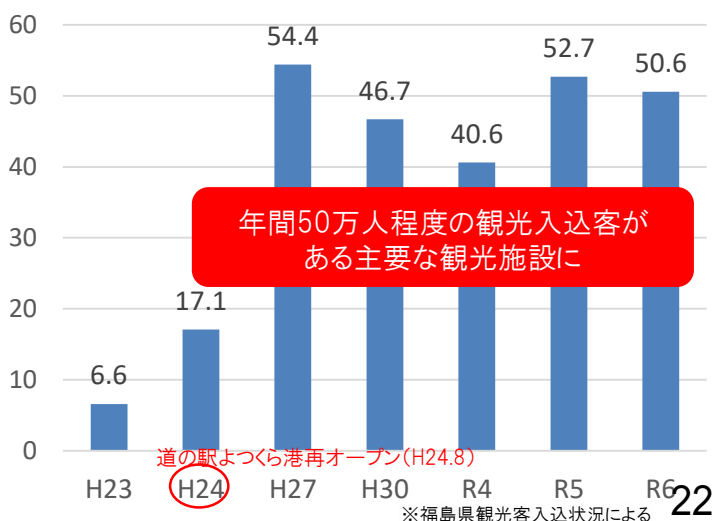
## 【Topic2】四倉海水浴場が再開！

四倉海水浴場が、平成25年7月15日に東日本大震災による津波と東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から3年ぶりに再開しました。



四倉海水浴場の再開(H25.7)

## 【参考1】道の駅よつくら港の観光客入込数



## 【参考2】復興まちづくり完成後の地元の声

《四倉ふれあい会議会長》

防災緑地が憩いの場となり、将来四倉地区の財産となり、魅力的な町となることを期待しています。

《四倉町区長会会長》

復興まちづくりが完了したことで、再建された方も定着して安心して生活ができるようになります。

《上仁井田仲・岸区長》

震災時に防災林がとても効果的であったので、防災緑地の将来の防災機能にとっても期待しています。

生産  
拡大

# 避難地域の復興・再生を支える ふくしま復興再生道路



## 国道349号 大綱木工区(川俣町) 【令和5年3月完成】



▲令和5年3月21日 完成式

### 【効果1】産業の再生や観光の振興、生活環境の再生を支える

■川俣町は、震災以降、山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」や西部工業団地の整備、新たな特産品アンズリウムのブランド化など復興・再生に向けた取組を進めている。また復興公営住宅の整備や山木屋診療所の再開など生活環境の再生にも取り組んでいる。

本事業は、これらの取組を大きく後押し、産業の再生や観光の振興、生活環境の再生を支援する。



山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」  
出典：とんやの郷HP



川俣アンズリウム  
出典：川俣町HP



川俣西部工業団地  
出典：川俣町HP

### 【効果2】道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消し、広域的な交流や物流を支える

■道路幅員の狭小区間や視距不良区間の解消により、通過時間を約2.7分短縮することで、県中地域と県北地域を結ぶアクセスが向上し、広域的な交流や物流の活性化を支援する。



整備前



整備後



生産  
拡大

# 交通混雑の緩和による 中心市街地の活性化を支援



【before】整備前



【after】整備後

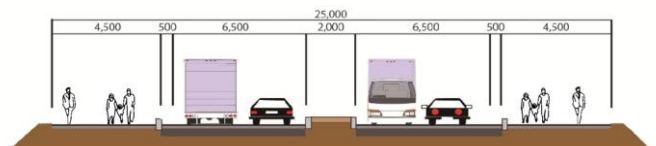


## 【効果1】中心市街地の4車線化による交通混雑の緩和

- **4車線化のバイパス整備**により、通過交通が現道からバイパスへ転換し、交通混雑の緩和が図られる。
- 中心市街地の渋滞が緩和され、**まちなかの活性化**が期待される。
- 会津縦貫南道路の**下郷田島バイパスの開通後**には、交通量増加が見込まれることから、**更なる効果発現も期待**される。

### 地域住民の声

- ◆ 旧道を通る交通量が減少したため、通学路の安全性が向上した。
- ◆ 消防出動の際に、アクセスが向上し時間の短縮につながった。
- ◆ 南会津病院へ搬送する際に、安全運行につながった。



道路標準断面イメージ図

小峰城



# 国道294号 白河バイパス (白河市)



## 【効果1】交通混雑の緩和

■ **バイパス整備**により、通過交通が現道からバイパスへ転換し、交通混雑の緩和が図られる。

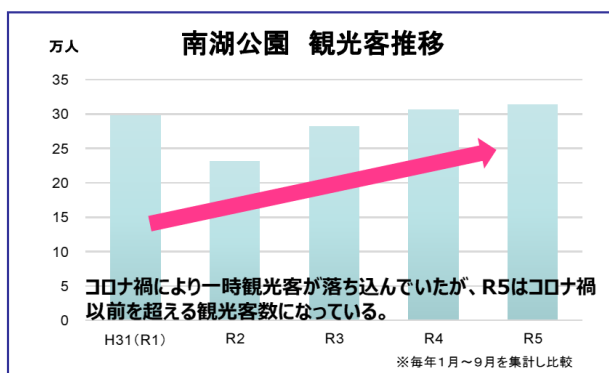
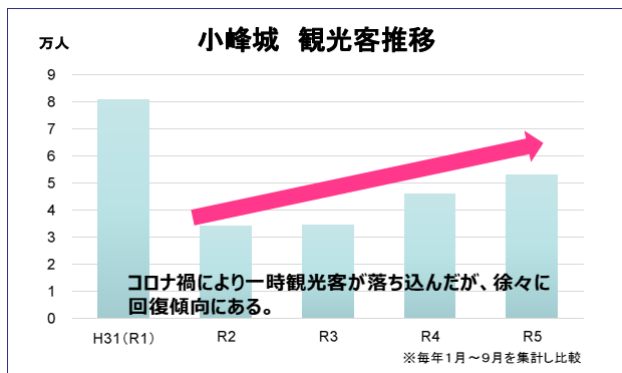
〈交通渋滞解消効果〉

	供用前 (R3)	供用後 (R5)
旧道 (地点1)	7,660[台/12h]	5,748[台/12h] 交通量減少
バイパス部 (地点2)	—	6,948[台/12h]



## 【効果2】観光名所へのアクセスの向上

■ 国指定史跡で観光名所のある小峰城や南湖公園へのアクセスが向上し、観光客の増加が期待される。





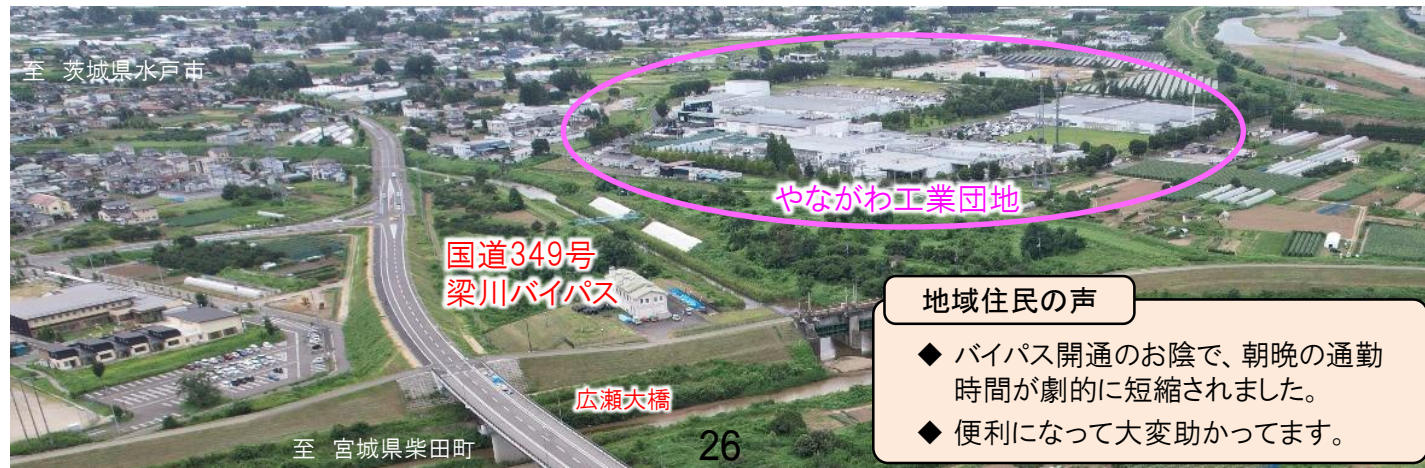
## 国道349号 梁川バイパス (伊達市)

### 【効果1】交通混雑の緩和

- **バイパス整備**により、通過交通が現道からバイパスへ転換し、**交通混雑の緩和**が図られる。
- やながわ工業団地への**アクセス性が向上**され、雇用創出や地域産業の活性化が期待される。



### 【after】整備後



**地域住民の声**

- ◆ バイパス開通のお陰で、朝晩の通勤時間が劇的に短縮されました。
- ◆ 便利になって大変助かってます。

生産  
拡大

# 住民帰還の促進や広域的な交流・物流を支えるふくしま復興再生道路



## 国道288号 野上小塚工区 (大熊町) 【令和4年7月完成】



### 【効果1】県内外へ避難している町民の帰還促進を支える

双葉地域と県中地域のアクセスが向上することで、県内や県外へ避難している町民への帰還促進を支援する。

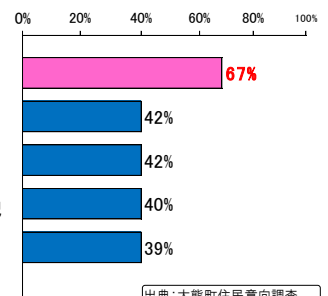
#### 大熊町民の主な避難先地域

- ・ 浜通り地方 約5.4千人 (いわき市 約4.5千人)
- ・ **中通り地方 約1.7千人 (郡山市 約1.0千人)**
- ・ 会津地方 約0.6千人 (会津若松市 約0.5千人)
- ・ 茨城県 約0.4千人
- ・ 埼玉県 約0.3千人
- ・ 東京都 約0.2千人

出典：大熊町避難先の状況  
大熊町HP(令和4年12月1日現在)

#### 大熊町への帰町を判断するために必要なこと

- 病院、道路、公共交通などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途 **67%**
- どの程度の住民が戻るかの状況 42%
- 住宅確保への支援に関する情報 42%
- 放射線量の低下の目途、除染成果の状況 40%
- 帰還困難区域の避難指示解除となる時期の目安に関する情報 39%



出典：大熊町住民意向調査  
大熊町HP(令和4年2月18日)

### 【効果2】道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消し、広域的な交流や物流を支える

道路幅員の狭小区間や視距の不良区間を解消することで、双葉地域と県中地域の往來の利便性が向上し、広域的な交流や物流の活性化を支援する。



#### 道路利用者の声

- ・ 大型車とのすれ違いが怖くなくなった。
- ・ 冬場も安心して通れそう。
- ・ 郡山方面に行くのが便利で早くなった。



整備前



整備後

生産  
拡大

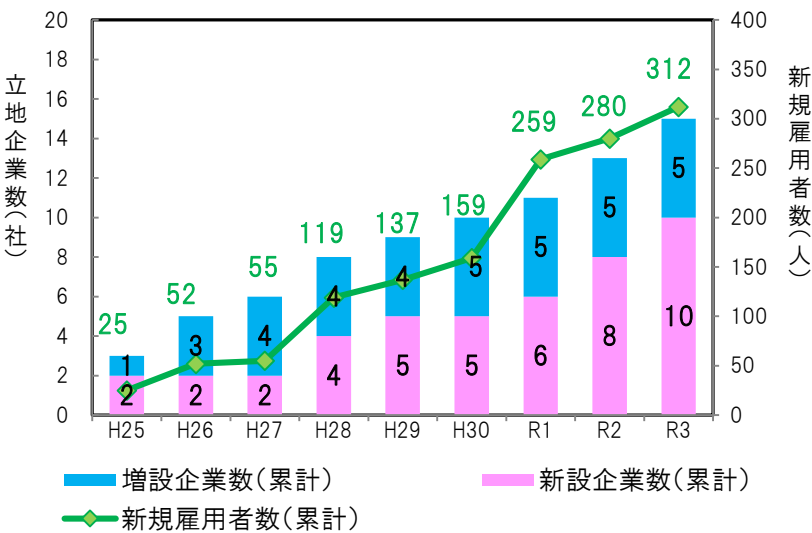
# ふくしま復興再生道路の整備により 県中、相双地方の物流やネットワークを強化



## 小野富岡線 小白井工区(いわき市)

【令和3年3月完成】

沿線市町村への新設・増設した企業数・新規雇用者数



### 【福島県トラック協会】

◆ 白河から富岡方面に行く際に、小野富岡線で大型車の通行が可能となれば、**いわきを迂回(高速利用)する必要がなくなり利用しやすくなる。**

### 【食料製造品等輸送事業者】 (須賀川市)

◆ 小野富岡線は、相双地域へは距離的に最短で行けるルートで、隘路がなくなれば、**もう1本信頼できるルートが形成され、効率よく回すことができるようになる。**



### 小野富岡線の整備状況



小野IC～常磐富岡IC通過時間  
整備前: 72.8分 → 整備後: 55.1分

小野富岡線は、磐越自動車道・あぶくま高原道路と常磐自動車道をつなぐ幹線道路であり、**ふくしま復興再生道路**として、一体的に整備を進めています。整備により、物流やネットワークの**更なる強化**を図るとともに、大規模災害時の円滑な**緊急輸送を確保**することが期待されています。

生産  
拡大

# 地域医療や産業振興、広域的な物流を支えるふくしま復興再生道路



## 国道399号 十文字工区・戸渡工区 (いわき市・川内村) 【令和4年9月完成】

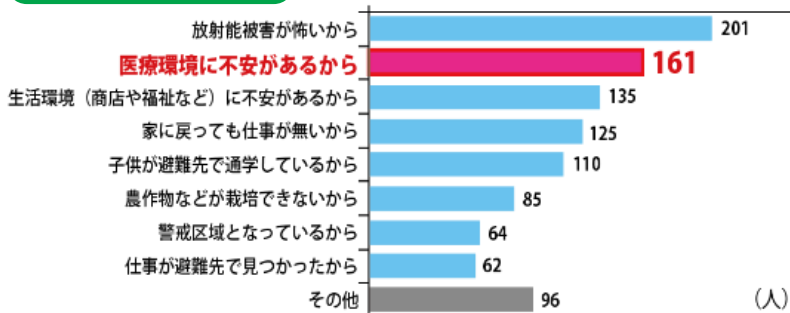


▲令和4年9月17日に開通した十文字工区

### 【効果1】地域の医療を支えます

医療環境への不安から帰村できない村民に対し、医療環境が改善し帰村の促進が図れます。

#### 川内村民が帰村しない理由



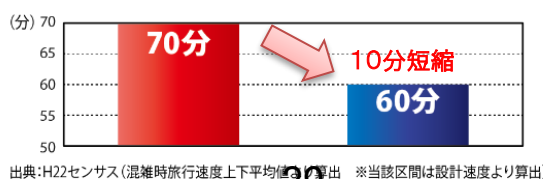
### 緊急搬送時の時間短縮



### 【効果2】通勤・通学を支援

通勤・通学上の問題から帰村できない住民に対し、整備による路線バスの導入などの検討が可能になります。

#### 川内村役場～いわき市役所間の所要時間が短縮



#### 地域住民の声

整備によって、いわき市が通勤圏になります。また、震災後、寮付きの高校に進学するしかない状況でしたが、**路線バスの導入など、教育環境向上も期待**できます。

生産  
拡大

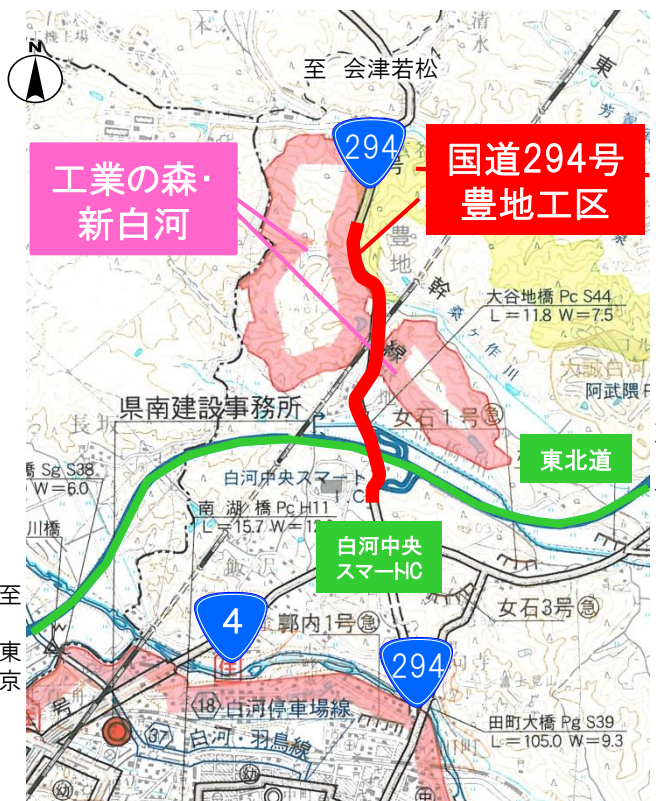
道路整備により物流の効率化や  
安全・安心な通勤・通学を支える



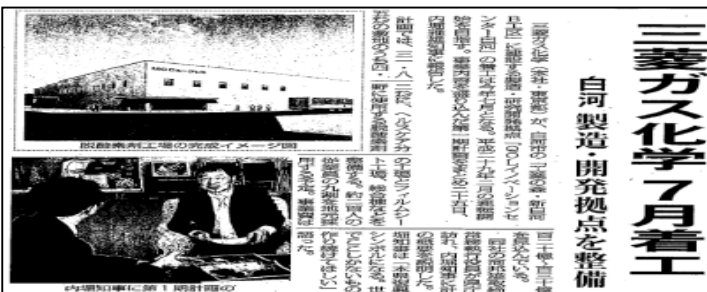
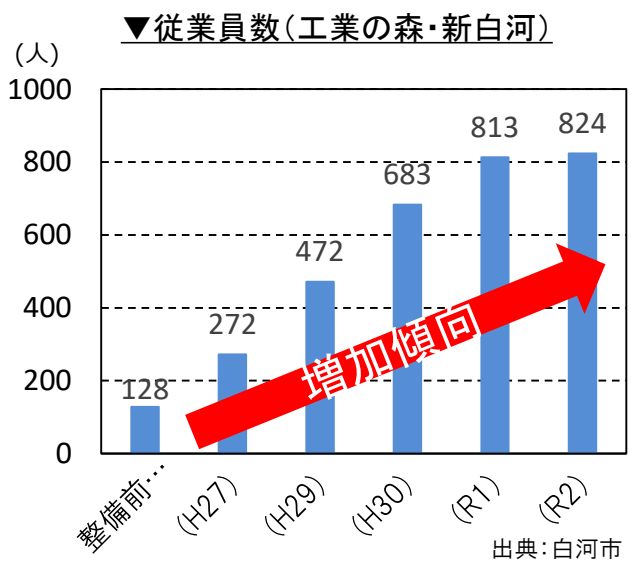
# 国道294号 豊地工区(白河市)

【令和2年12月完成】

【効果】隣接する工業団地の工場新設や増設を誘発、雇用創出に寄与



■東北自動車道の白河中央スマートICから工業の森・新白河までの1.8km区間の現道を拡幅することで、工業の森・新白河への企業進出が増え、雇用の創出に寄与しています。



生産  
拡大

# 県内の魅力的な土木建築施設を組み 入れたインフラツーリズムの深化



## 【効果1】インフラと建築施設を観光資源として活用することによる観光交流人口拡大

これまでダムや橋りょうなどのインフラ施設を地域資源として捉え、ふくしまインフラツーリズムの推進に取り組んできましたが、**新たに建築文化との相乗によるPRを行い**、本県への誘客等による**観光交流人口の拡大**を図っていきます。



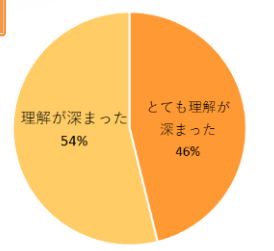
地域の周遊による  
交流人口の拡大



ポータルサイトでは、  
おすすめのモデルコースや  
建築施設の紹介動画を  
掲載しています！

## 【効果2】インフラや建築施設の役割や重要性への理解促進

普段インフラや建築物に触れる機会のない方にも、観光目的での見学や体験を通じて、**インフラや建築施設の役割や重要性を知ってもらうきっかけ**になります。



モニターツアー参加者アンケートでは  
全員が「インフラへの理解が深まった」と  
回答！（R6:回答数26人）

生産  
拡大

# 物流・生産活動を支える自動車専用道路 沿線に企業が進出、雇用を創出



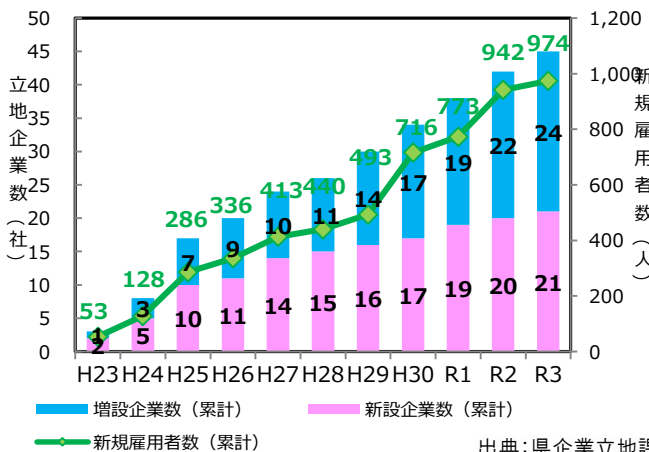
## あぶくま高原道路(矢吹IC~小野IC) (東北自動車道) (磐越自動車道)

あぶくま高原道路(石川母畑IC)付近

【効果】全線開通により沿線町村への企業進出、雇用が拡大



### 沿線町村への新設・増設した企業数・新規雇用者数



全線開通により、沿線町村へ45社が進出、約970名の雇用を創出。今後も更なる拡大が期待される。



矢吹IC付近の工業団地(写真提供：矢吹町)

生産  
拡大

# 会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消

喜多方ラーメン(喜多方市)



五色沼(北塩原村)



鶴ヶ城(会津若松市)



会津若松北IC



## 会津縦貫道

### 会津縦貫北道路(喜多方IC~会津若松北IC)

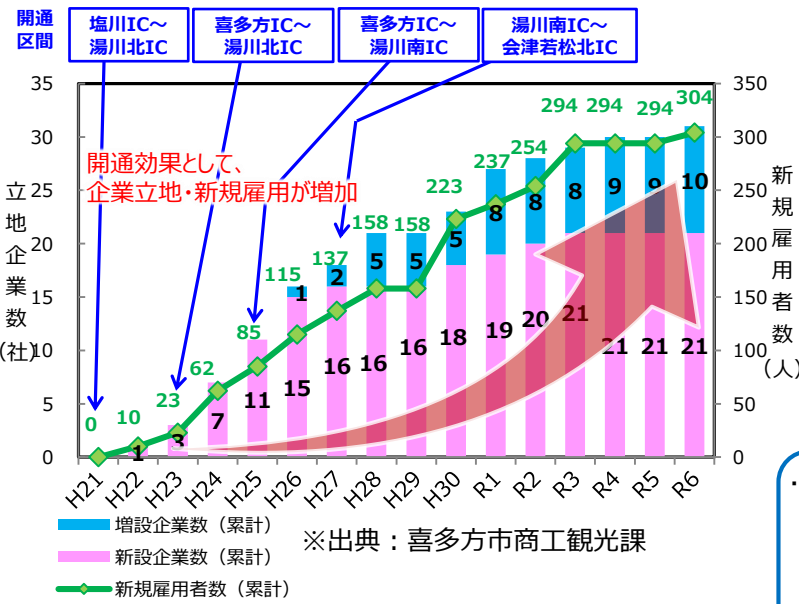
【平成27年9月完成】

地域間交流の促進、都市や産業、観光資源などを有機的に結び、圏域全体として集積規模の拡大を図るための地域高規格道路

#### 【効果1】企業進出、雇用拡大

■喜多方地方への企業進出や雇用拡大など、産業振興の発展に寄与

##### ▼喜多方市へ新設した企業数・新規雇用者数



#### 【効果2】救急搬送時間を大幅短縮

■喜多方方面から第3次救急医療施設である会津中央病院や会津医療センターへの搬送時間が短縮され、救急救命率の向上に寄与



・患者への負担に配慮し、搬送ルートを国道49号から会津縦貫北道路へ変更し、安定した搬送ができるようになった。



#### 【その他の効果】

■磐越自動車道及び会津縦貫南道路との広域道路ネットワークを形成し、災害時の緊急物資の輸送を可能とする災害に強い交通機能を確保。

■会津地域に点在する観光地間の移動時間を短縮することにより、観光振興に寄与している。

・開通したことで、観光周遊がスムーズになりました。  
・移動時間に余裕ができたため、他の観光地へも足を伸ばせるようになりました。



# 南会津地域を支える広域道路ネットワーク 高規格道路のミッシングリンクを解消



## 会津縦貫道 会津縦貫南道路(会津若松市～南会津町)

### 【効果】広域道路ネットワークの強化

- 県土の骨格を成す6本の連携軸の一つである会津軸として、磐越自動車道及び会津縦貫北道路との広域道路ネットワークを形成し、災害時の緊急物資の輸送を可能とする災害に強い交通機能を確保。
- 南会津地域から第3次救急医療施設である会津中央病院へ60分以内で搬送可能な範囲が拡大されることにより、緊急性の高い外傷患者等の救命率が向上する。
- 現道の線形不良区間や幅員狭小区間を回避することにより、走行性や安全性が確保されるため、交通事故が減少する。
- 南会津地域に点在する観光地間の移動時間を短縮することにより、観光振興に寄与する。



会津縦貫南道路の整備がもたらす時間短縮やカーブの減少や路面状況の向上は、患者の命を救うことにつながる。

- ・国道121号には代替路がないので、会津縦貫南道路のように信頼性の高い道路が整備されることは安心感につながる。
- ・冬の通行が楽になるので、運転のストレスが減る。
- ・大内宿に泊まって、日光や山形にも行ける。観光地にゆっくり滞在できる。

### 現道の状況



生産  
拡大

# 浜通りの水産業の復興を支援

新地町  
相馬市  
南相馬市  
浪江町  
富岡町  
いわき市

## 【請戸漁港】

原発事故が起きた福島第一原子力発電所から最も近くに位置する請戸漁港(浪江町)は、立入制限により工事着手まで約2年半の期間を要しましたが、震災から約10年の歳月を経て、令和3年3月に復旧工事が完了。

# 松川浦・請戸・釣師浜・真野川・久之浜・四倉・豊間・勿来・富岡・小浜

### 第3種漁港

…利用範囲が全国的なもの

### 第2種漁港

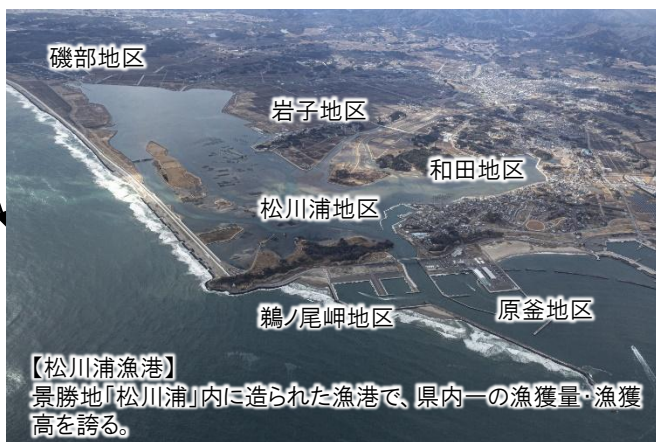
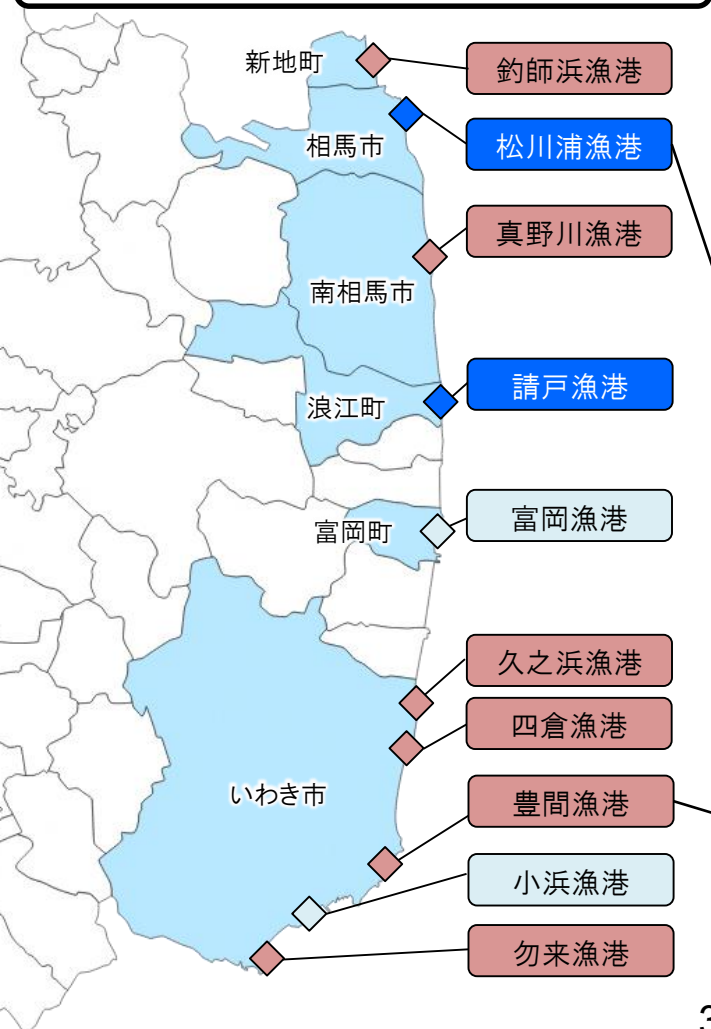
…利用範囲が第1種より広く、第3種に属さないもの

### 第1種漁港

…利用範囲が地元の漁業を主とするもの

東日本大震災により県内の10漁港全てにおいて壊滅的な被害を受けましたが、請戸漁港(浪江町)が令和3年3月に完了したことにより、全ての漁港で復旧工事が完了しました。

また、令和3年2月及び令和4年3月に発生した福島県沖地震により、松川浦漁港、釣師浜漁港、真野川漁港で再度被害を受けましたが、令和7年3月に全ての復旧工事が完了しました。



## 【松川浦漁港】

景勝地「松川浦」内に造られた漁港で、県内一の漁獲量、漁獲高を誇る。



## 【豊間漁港】

平成29年に沼之内支所魚市場が再開され、多くの新鮮な魚が水揚げされている。

【効果1】東日本大震災で被災した岸壁や防波堤の復旧により、水産物の安定供給が可能に！

○岸壁や防波堤等の復旧(松川浦漁港 鵜ノ尾岬地区)



令和2年度までに全ての漁港の復旧が完了。漁港の復旧とともに、平成24年6月から始まった試験操業は、令和3年3月末に終了し、令和3年4月から本格操業への移行期間となりました。今後は水産物の生産・流通が震災前の水準へ徐々に戻っていくことが期待されます。



出初め式(請戸漁港)



競りの再開(請戸漁港)

漁港復旧・復興の工事経過

漁港名	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	備考
釣師浜漁港(新地町)	■	■	■	■	■	■	■	■			
松川浦漁港(相馬市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
真野川漁港(南相馬市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
請戸漁港(浪江町)									■	■	避難区域
富岡漁港(富岡町)											避難区域
久之浜漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
四倉漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
豊間漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
小浜漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			
勿来漁港(いわき市)	■	■	■	■	■	■	■	■			

※請戸漁港は平成29年3月31日、富岡漁港は平成29年4月1日に避難区域解除

10漁港における水揚量(トン) 港勢調査より



【効果2】漁港施設を活用した地域の取組を支援

四倉漁港(いわき市)の「道の駅よつくら港」や松川浦漁港(相馬市)の「浜の駅松川浦」など、豊かな水産資源を活かした地域の取組が活性化しています。



四倉漁港「道の駅よつくら港」



松川浦漁港「浜の駅 松川浦」グランドオープン(R2.10月) 写真提供:相馬市観光協会

# 生産拡大

# 福島・宮城・山形を包含した広域経済圏を支える海の玄関口の整備



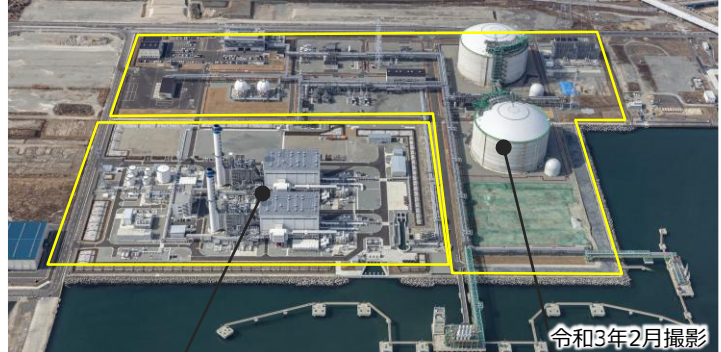
## 相馬港4号ふ頭地区ふ頭埋立造成事業 (相馬市、新地町)

### 【効果1】

- 臨港道路の4車線化により利便性が向上し、**港湾機能が活性化**
- **新たな企業が立地し、取扱貨物量が増大**

### 【効果2】国、県、民間事業者が一体となった港湾整備により、**新規雇用の創出に寄与**

#### 4号ふ頭地区埋立造成事業

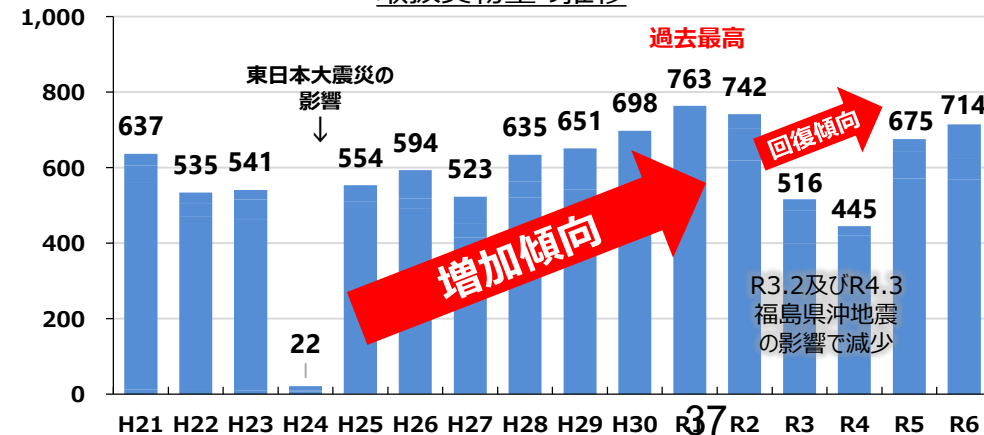


＜福島天然ガス発電所＞  
 (令和2年5月営業運転開始)  
 ・建設投資：約1,400億円  
 ・新規雇用：約100人

＜相馬LNG基地＞  
 (平成30年3月操業開始)  
 ・建設投資：約600億円  
 ・新規雇用：約100人

(万トン)

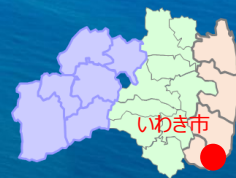
### 取扱貨物量の推移



国、県が一体となって、土地の埋立造成や防波堤、臨港道路の整備を行い、港湾機能の向上を図ることにより、民間事業者の大型投資による**企業立地**が実現し、**新規雇用の創出**や**取扱貨物量の増加**に寄与。

生産  
拡大

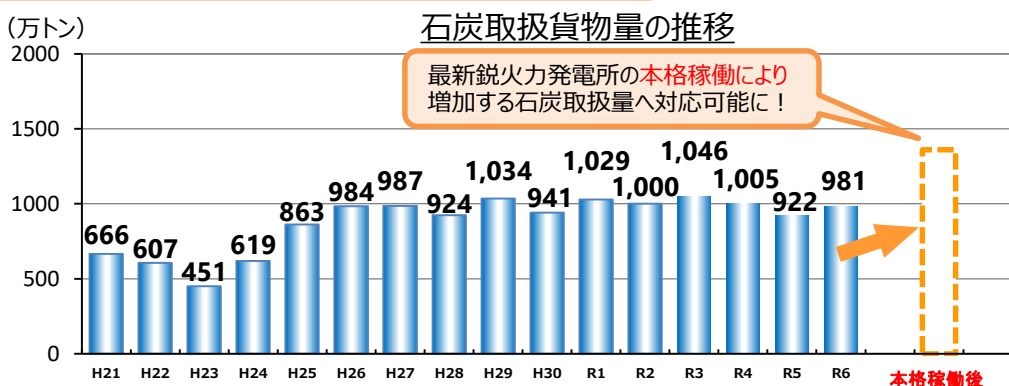
# 国際バルク戦略港湾小名浜港を拠点とした 海上輸送の効率化を推進



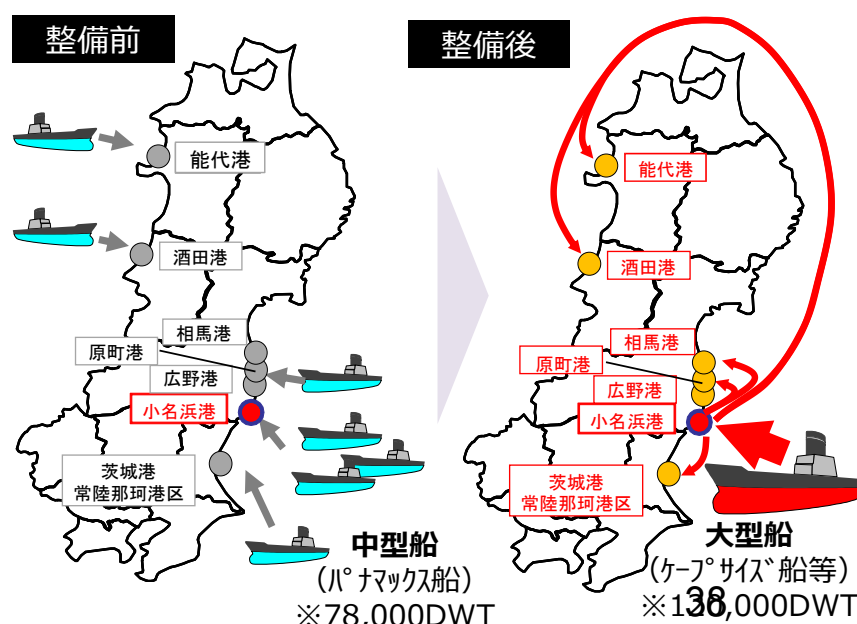
## 小名浜港東港地区国際物流ターミナル整備事業 (いわき市)

【効果1】東日本地域におけるエネルギー拠点としての役割を果たします

大水深(水深-18m)岸壁や野積場を拡張することにより、船舶の沖待ち解消や、大量かつ安価な石炭を取り扱うコールセンターとして荷役機能が効率化され、東日本地域のエネルギー拠点としての役割が期待されます。



【効果2】大型船が接岸できる岸壁を整備し、貨物大量一括輸送によりコストを低減

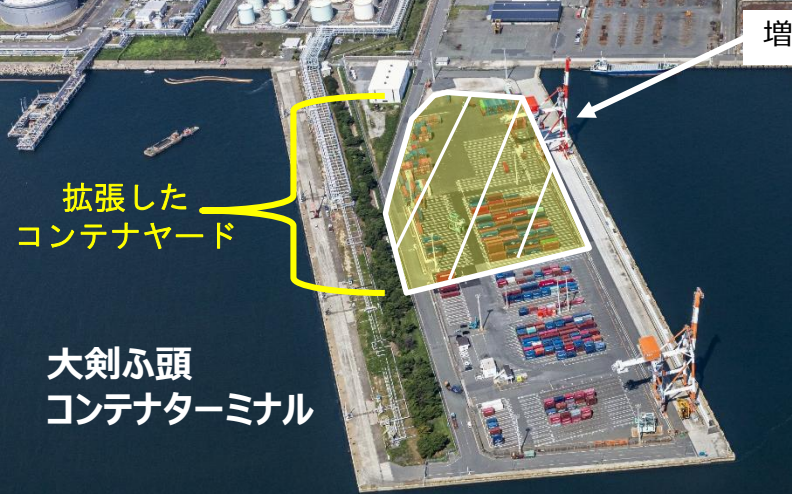


大型船が接岸できる大水深岸壁をもつ東港地区は、令和4年6月に全面供用を開始し、より効率的な海上輸送が可能となりました。

生産  
拡大

# 効率的なコンテナ貨物の荷役を実現

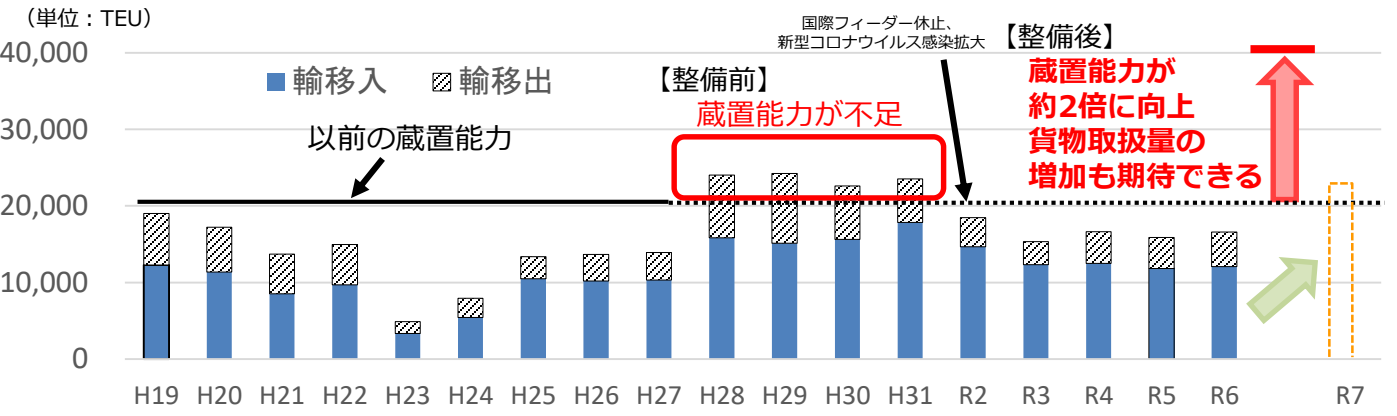
## 小名浜港大剣ふ頭コンテナターミナル 機能強化事業（いわき市）



### 【効果1】 コンテナヤード拡張により、コンテナ貨物の蔵置能力が約2倍に向上

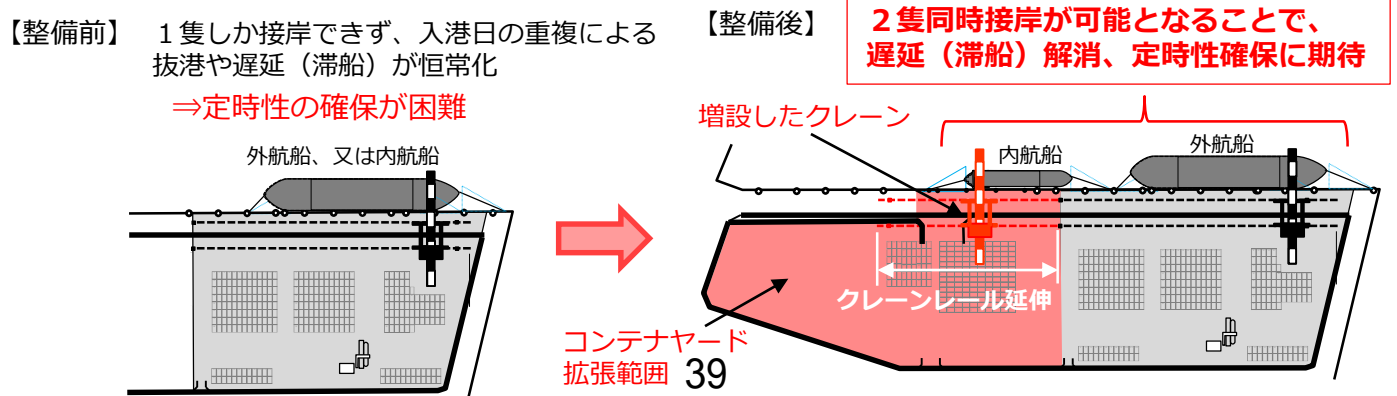
平成28年以降に急増したコンテナ貨物取扱量に対応するため、蔵置能力の向上が求められていました。令和3～6年度にかけてコンテナヤード拡張工事を実施したことで、蔵置能力は約2倍に向上しました。令和7年のコンテナ貨物取扱量は、令和6年に比べて大きく増加する見込みであり、今後の物流拠点としての役割がますます期待されます。

小名浜港のコンテナ貨物取扱量の推移



### 【効果2】 クレーン増設・レール延伸により、2隻同時接岸による効率的な荷役が可能に

令和3～6年度にかけてコンテナクレーン増設、クレーンレール延伸を実施したことで、コンテナ船の2隻同時接岸が可能となりました。これにより、さらなる荷役の効率化が期待されます。



生産  
拡大

# 歴史的建造物の保存と 観光資源としての活用

会津若松市・猪苗代町



既存水門を活用した治水管理(洪水調節機能を付加)

明治13年完成の十六橋眼鏡石橋水門を、大正3年に改築されて以来80年余りを経た十六橋水門は、コンクリート造りの水門施設として国内最古の貴重な近代土木遺産

歴史的景観を変えずに補強、改修

## 十六橋水門(会津若松市・猪苗代町)

【効果】歴史的建造物として保存し、安積疏水関連施設見学者が増加傾向

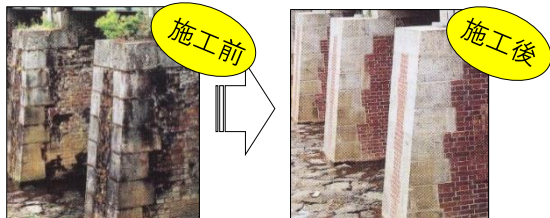
十六橋の由来は西暦800年頃まで遡るとされており、安積疏水事業で会津方面へ流出する水量を調節し、郡山方面へ引水する流量を確保するための水門として改築され、現在は猪苗代湖から日橋川への洪水調節機能も付加することにより、治水・利水上重要な役目を果たしているとともに、歴史的な価値が非常に高い。

歴史的景観を変えずに補強、改修したことで貴重な土木遺産を保存するとともに、重要な治水機能を有するだけでなく、観光資源・安積疏水のシンボルとしての役割も果たしている。

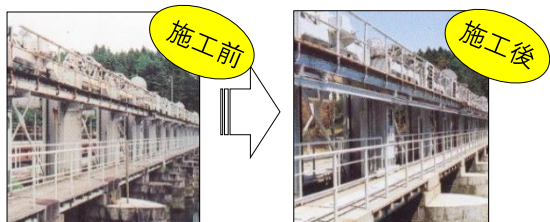
- 平成14年  
土木学会選奨土木遺産を受賞
- 平成22年  
近代化産業遺産群続33「東北地方の産業振興の基礎を築いた水資源・交通・都市基盤整備の歩みを物語る近代化産業遺産群」構成遺産の一つとして認定
- 平成28年  
日本遺産「未来を拓いた「一本の水路」—大久保利通“最後の夢”と開拓者の軌跡」構成文化財の一つとして認定

歴史的景観を変えずに補強、改修を実施

■堰柱補強・改修

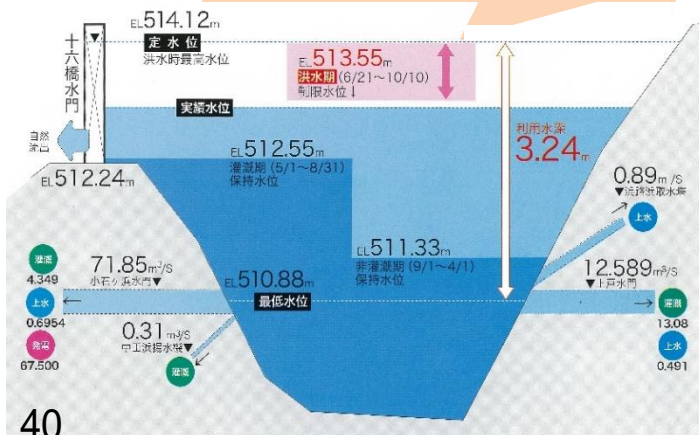


■水門設備改修



十六橋水門の改修による治水機能の確保

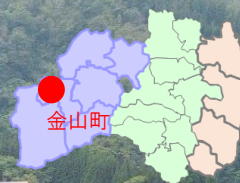
水門設備の改修とともに治水容量  
6,000万m<sup>3</sup>を確保



安全  
安心

# 市町村の課題解決に向けた支援

～県代行による市町村道の整備～



金山町

至会津若松市

町道中川大栗山線

国道252号

## 県代行事業 中川大栗山線(金山町)

【令和7年10月供用開始】

※県代行事業期間:平成21年度～令和7年度



▲令和7年10月17日 開通式

【before】 現道状況

車両のすれ違いが困難



急カーブ・急勾配



【after】 橋梁3橋を含む約1.2kmを整備



至国道252号



東沢橋

【効果】幅員狭小・急勾配・急カーブ区間の解消により、安全で円滑な通行を確保。



安全で円滑な  
通行確保



至国道252号

旧道

中川大栗山線

令和7年10月開通区間

本路線は、生活道路としてはもとより観光道路としても重要な路線であり、町内主要3地区(中川、沼沢、小栗山)を結ぶ「トライアングルロード整備計画」の一環として道路整備を進め、安全で円滑な通行を確保することができました。

安全  
安心

# リダンダンシーを確保し災害に強い強靱な 道路ネットワーク



▲令和6年3月3日に開通した小沼崎バイパス

## 国道118号 小沼崎バイパス (下郷町) 【令和6年3月完成】

### 【効果】災害時の安全な通行を確保

令和6年5月7日に発生した倒木により、旧道が一時通行止めとなりましたが、小沼崎バイパスの整備により、大幅に迂回することなく、安全な交通が確保されました。



会津縦貫南道路4～5工区の完成により、10分短縮



安全  
安心

# 自然災害に脆弱な道路のバイパス化により、緊急輸送路の通行を確保



いわき市

## いわき石川線 才鉢工区 (いわき市) 【令和4年3月完成】



▲令和4年3月24日に開通した才鉢工区

### 平成18年豪雨による旧道の被災事例



至 石川町

土砂崩落が発生

### 令和元年台風19号による旧道の被災事例



至 石川町

法面崩落が発生

【効果】年間を通じた安全・安心な通行を確保。

#### 現道部

・令和元年台風19号（連続雨量約256mm）により、**法面崩落の被災**を受け、22日間の**通行止めが発生**

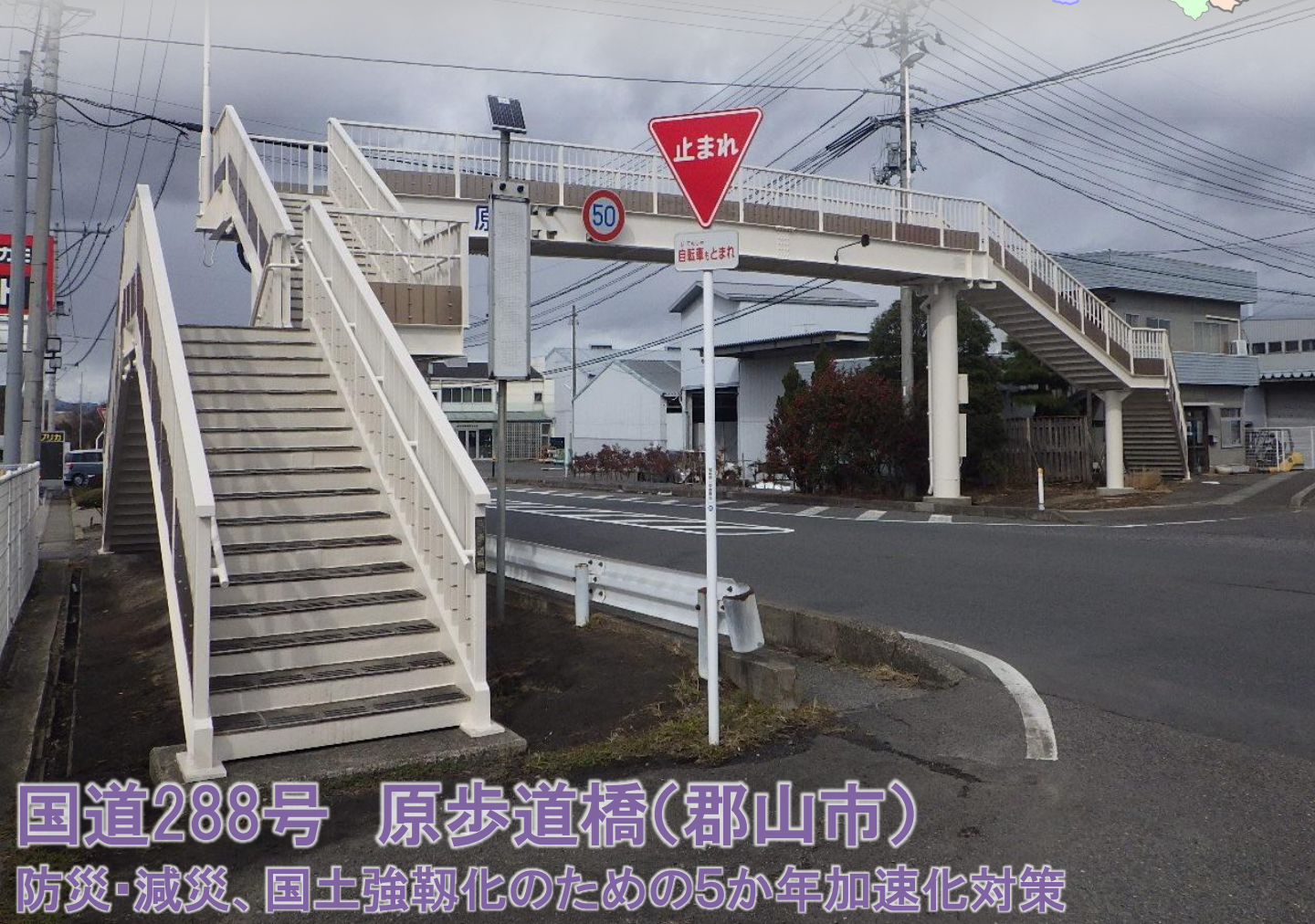
#### バイパス整備部

**台風13号（連続雨量約183mm）による通行止めなし**

R5.9月  
台風時に  
被災なし

安全  
安心

# 既存施設の老朽化対策と 適切な維持管理による道づくり



## 国道288号 原歩道橋(郡山市) 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

【before】 補修前(令和6年6月)

【after】 補修後(令和7年3月)



腐食防止機能を更新



施設の  
老朽化対策

【効果】既存施設の老朽化対策

- ・老朽化により腐食した箇所について**塗装工**を施工しました。
- ・腐食防止を行ったことで、歩道橋の**老朽化対策**を図りました。



## (一) 浪江鹿島線 北台木橋(南相馬市)

### 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

【before】 補修前(令和6年4月)

【after】 補修後(令和6年10月)

腐食が進んだ橋げた

再塗装した橋げた

腐食・変形部分

橋げた

あて板を取付け、  
橋げたを補強

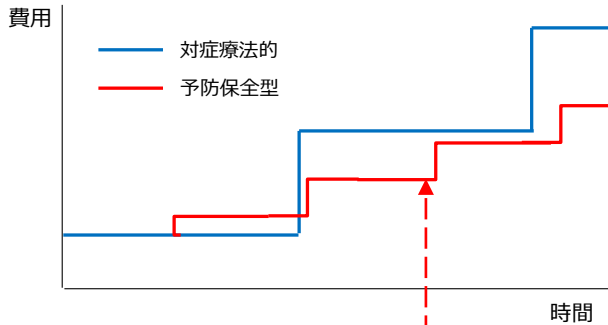
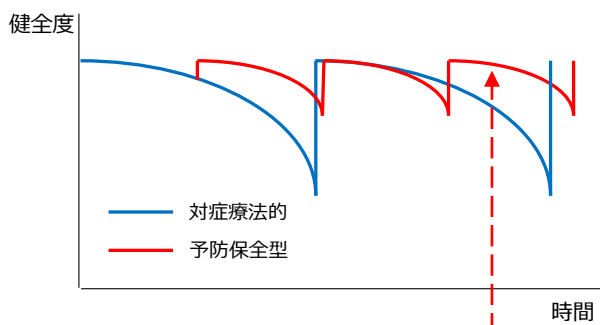
橋げた 支承

支承

施設の  
老朽化対策

#### 【効果】既存施設の老朽化対策

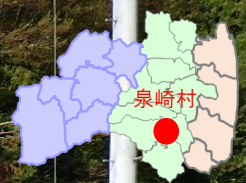
- ・ 腐食が進んだ鋼製の橋げたと支承（上部構造と下部構造の間の部材）の塗装を塗り替え、橋げたにあて板を取り付け、橋の老朽化対策を実施し県民の安全・安心を確保しました。
- ・ 計画的な対策により寿命を延ばし、補修コストの縮減が図られます。



損傷が小さいうちに予防的な修繕を行うことで、修繕に係るトータルのコストを縮減！

安全  
安心

歩道整備により歩行空間を確保し、  
通学児童の安全性を向上



## 母畑白河線 木ノ内前工区(泉崎村)

【before】整備前

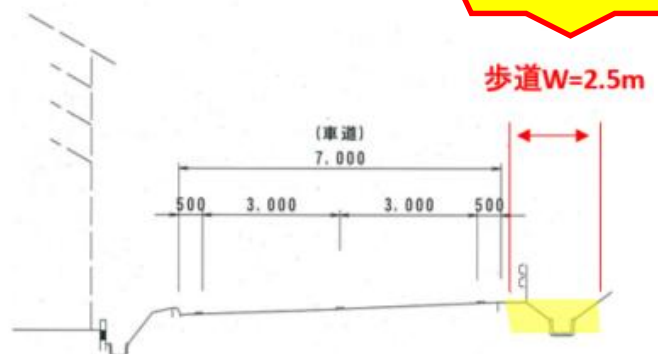


【after】整備状況(令和5年11月)



【効果】 歩道整備により、通学児童の安全・安心な通行を確保。

安全な  
通行確保



# 令和4年3月発生 of 福島県沖地震における 橋梁の耐震補強対策の効果



## 上名倉飯坂伊達線 医王寺橋(福島市)

【対策内容】落橋橋脚の倒壊等を防ぐため、橋台の桁受部の拡幅及び橋脚の補強(コンクリート巻き立て)を実施(令和3年3月完了)

### 令和4年3月地震による被害はなく、橋梁の機能を確保

#### 《 対策未実施の場合 》

○耐震補強未実施の場合は、大規模地震発生時に落橋や橋脚の倒壊が発生する場合があります。

#### 《 対策状況 》



震度6弱の地震後でも、落橋・橋脚倒壊、路面の段差など通行不能となるような被害は無く、橋梁の機能を確保することができました。

【効果】耐震性能の強化により、大規模地震後においても円滑な交通機能の確保が可能



地震後の通行状況 (R4.3)

地震後においても通行止めを行うことなく、円滑な交通機能を確保することができました。

安全  
安心

# 道路整備により 安全な通行と地域間交流・物流を支える



## 郡山湖南線 三森工区(郡山市)

【令和3年11月完成】

【before】整備前



幅員狭小・線形不良

至 郡山市街地

【after】完成後(令和3年)



至 郡山市街地

至 郡山市湖南町

【効果】安全・安心な通行を確保。広域的な交流・物流の活性化や観光振興も支援。

バイパス整備により安全で円滑な通行を確保され、また、  
猪苗代湖や布引高原などの観光地へのアクセス性も向上し、  
観光振興にも貢献することが期待されます。

三森工区 全体延長 L=6,622m



猪苗代湖(郡山市HPより)

至 湖南町



布引高原(郡山市観光協会HPより)

旧道部  
三森トンネル

多田野トンネル

今回開通  
L=1,270m

26分短縮

旧道部を通行 L=10.4kmを時速17km/hで約36分

バイパスを通行 L=6,48mを時速40km/hで約10分

(国土地理院地図より)

安全  
安心

# 台風13号豪雨における 河川改修事業効果



【after】対策後



## 夏井川(いわき市) 防災・減災、国土強靱化対策

地域住民の声

河川改修の効果で**水位があまり上がらなかった**ので、安心していられた。  
(地域住民)



【before】令和元年東日本台風 被災直後



R元.10出水 いわき市平下平窪地内浸水状況

【効果】河道掘削と伐木・除草により河川断面が大きくなり、水位低減効果を発揮。  
令和5年9月8～9日の台風13号においては夏井川・好間川沿川で外水氾濫は発生しなかった。

【夏井川 鎌田水位観測局付近 横断面図】 事業実施前の断面でR5.9出水が起きていたと想定した場合 計画高水位超過 7.7m

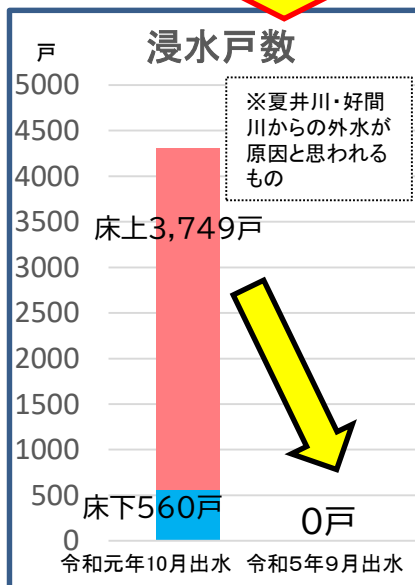
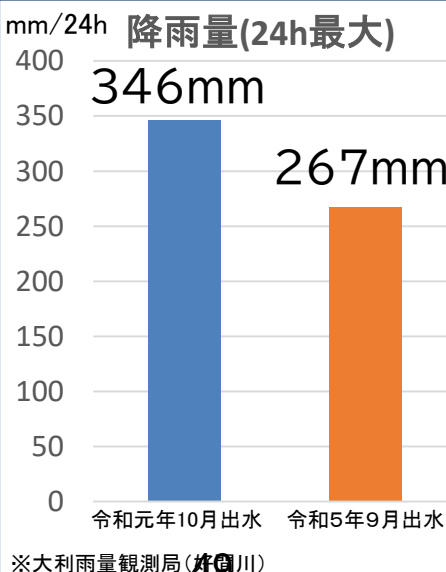
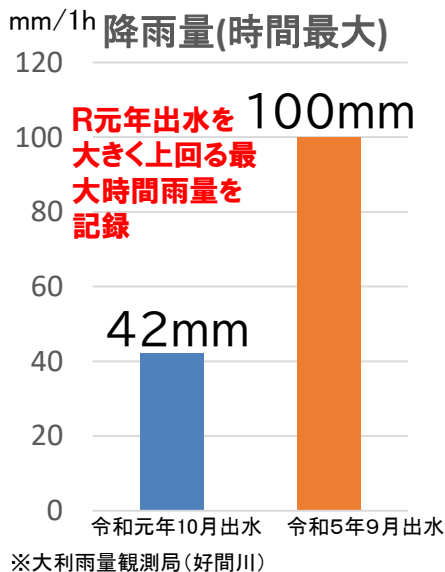
掘削工により河道断面を確保



R5.9出水最高水位 6.8m

事業実施により0.9m水位低減効果を発揮

R5.9月  
台風時に  
被災なし



安全  
安心

# 令和5年台風13号豪雨における 河川改修事業効果



【after】対策後



## 宇多川(相馬市) 防災・減災、国土強靱化対策

地域住民の声

河川改修により、以前ほど  
水位が上がらなくなったの  
で、安心できた。



【before】令和元年東日本台風 被災直後



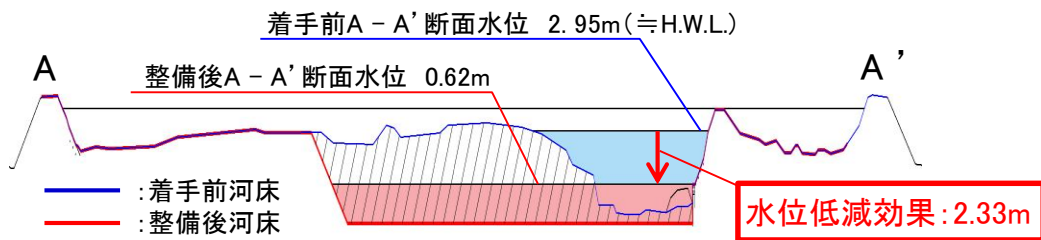
小泉川

宇多川

出水 相馬市北飯渚地内外浸水状況

【効果】河道掘削及び伐木・除草により河川断面が大きくなり、水位低減効果を発揮。  
令和5年9月8～9日の台風13号においては宇多川・小泉川沿川で外水氾濫は発生しなかった。

北飯渚地区の河道掘削が完了している区間において、R5年9月発生台風13号(9/8～9/9)の雨量・水位を基に事業効果を検証した結果、**約2.3mの水位低減効果**が確認できた。



樹木伐採・河道掘削着手前  
(令和2年9月撮影)



樹木伐採・河道掘削整備後  
(令和4年7月撮影)



安全  
安心

# 令和元年東日本台風以降の

## 河道掘削効果

# 大森川(福島市)

## 防災・減災、国土強靱化対策



●: 写真撮影箇所  
▲: 水位観測所

【before】河道掘削実施前



【after】河道掘削実施後

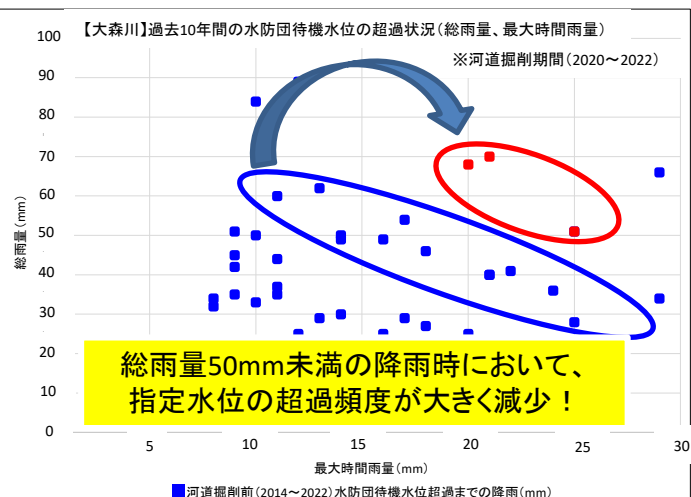
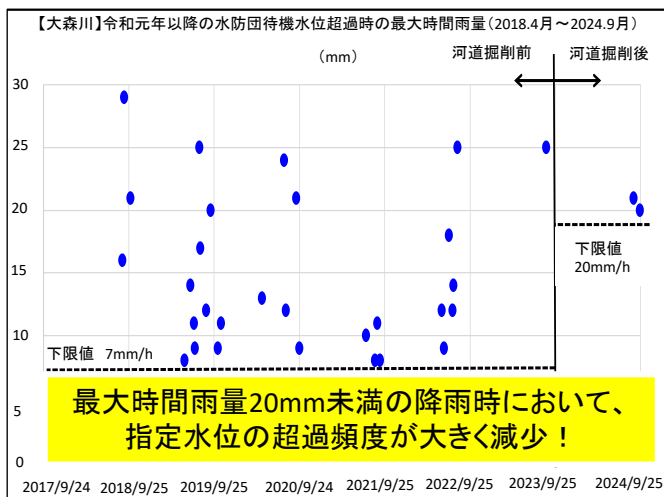


### 【効果】

- 河道掘削及び伐木・除草により河川断面が大きくなり、出水時の水位低減効果を発揮。
- 対策後においては大森川での出水による水位上昇の頻度が大きく減少した。

大森川の河道掘削実施後、雨量・水位を基に事業効果を検証した結果、**水防団待機水位の超過頻度が大きく減少していることが確認できた。**

【水防団待機時の雨量下限値 河道掘削前:7mm/h 河道掘削後:20mm/h】



安全  
安心

# 台風及び豪雨における 河道掘削事業効果



【after】対策後



## 藤原川(いわき市)

【before】対策前

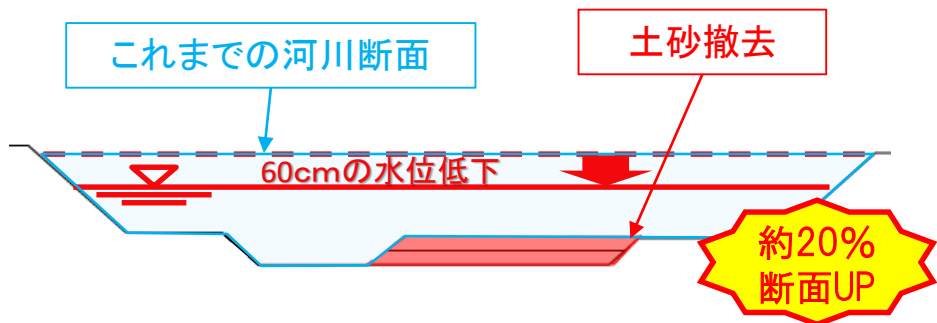
視点①：下船尾橋から上流を望む



視点②：藤原橋から下流を望む



【効果】河道掘削と伐木・除草により河川断面が大きくなり、水位低減効果を発揮。  
R6、7年に発生している台風や豪雨でも藤原川沿川で外水氾濫は発生しなかった。



これまでは、河道内土砂が堆積しており、洪水時に河川の流れを阻害していましたが、土砂を撤去することで河川断面が、約20%増えました。

【地域住民の声】



・近年ゲリラ豪雨や線状降水帯がいつ発生してもおかしくない状況だったため、土砂の掘削や草刈りをしていただき少し安心することができた。  
・以前は堤防まで草が生い茂っていたが、景観も良くなり、散歩コースになりました。

安全  
安心

# 浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



【after】対策後



【before】対策前



## 広瀬川(伊達市) 防災・減災、国土強靱化対策

【効果】

河川の断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待。  
また、河川の堤防を補強するため、堤防天端の舗装を行った。

R6,7年で  
被災無し

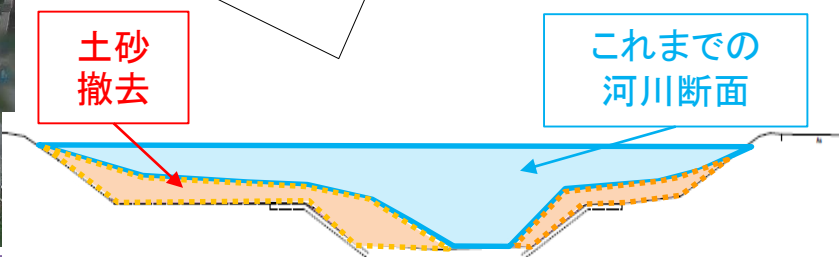
※連続雨量90mm  
(R6. 8. 16-17月館観測所)



これまでは、河道内に土砂が堆積しており、洪水時に河川の流れを阻害していましたが、土砂を撤去することで河川断面が、約30%増えました。

土砂  
撤去

これまでの  
河川断面



【地域住民の声】



令和元年台風以降、河川の中の土砂が川を狭くしており災害にならないかと気になっていたが、土砂を撤去してもらったことで、川が広くなり安心している。併せて、木も切ってもらえたので、川がきれいになったと感じている。

安全  
安心

# 浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



【after】整備状況

【before】被災状況(令和元年10月)

堤防が延長15mにわたり決壊し、  
周辺の住宅が浸水するなどの被害が発生

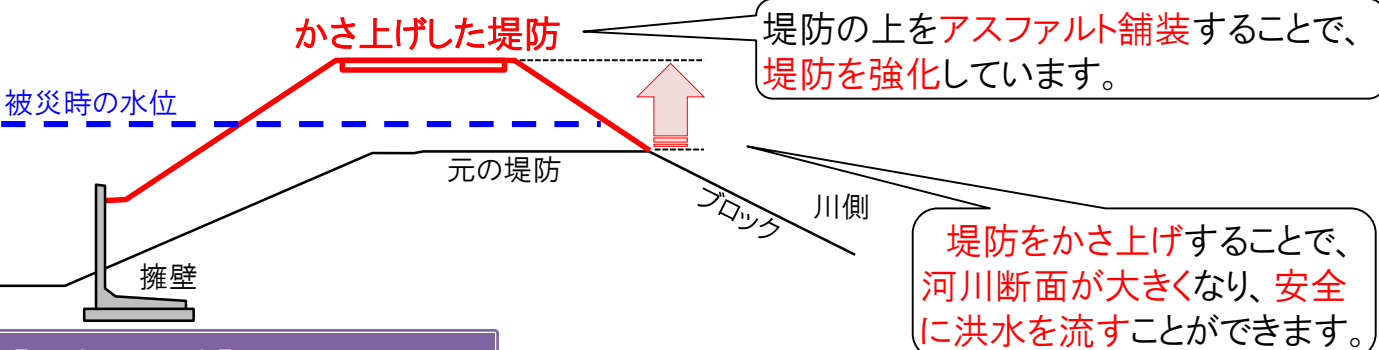
阿武隈川(本川)と合流

濁川

## 濁川(福島市)

### 令和元年東日本台風からの復旧

【効果】河川断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待



【地域住民の声】



「何が起こるかは分からないが、決壊した  
箇所の整備が終わり、堤防も高くなった  
から安心して生活できるよ。」

「愛着のある河川だから、新しい堤防も地域で  
草刈りを行っていく。」  
「堤防が復旧しても、あの日以来、自分で雨量  
を確認するようになった。」



安全  
安心

# 浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



【after】対策後



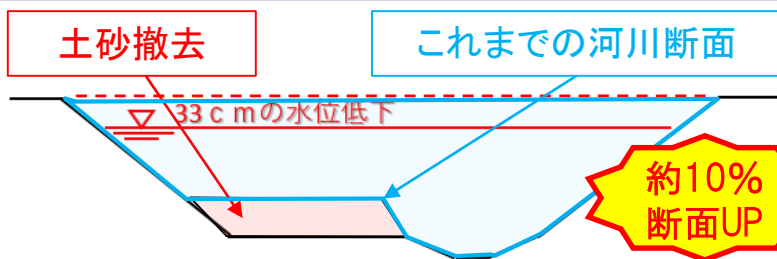
## 谷田川(郡山市) 防災・減災、国土強靱化対策

【before】対策前

堤防背後に工業団地があり、  
堤防の決壊で浸水被害が発生



【効果】堤防補強により、浸水被害の解消・軽減に期待



これまでは、河道内土砂が堆積しており、洪水時に河川の流れを阻害していましたが、土砂を撤去することで河川断面が、約10%増えました。

【地域住民の声】



工事で溜まった土砂を取り除いてもらったことで、安全性が増し、以前より安心して生活できる。  
これまで、草木が生えて鬱蒼としていたが、川の姿が見えて、より親しみが持てるようになった。

安全  
安心

浸水被害から地域住民の  
安全・安心な暮らしを守る

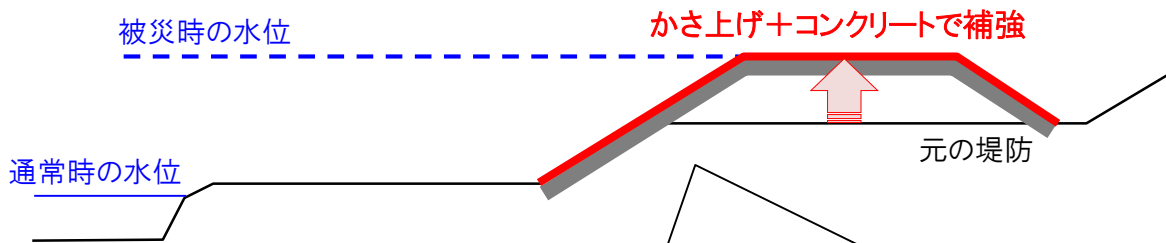


## 社川(白河市) 令和元年東日本台風からの復旧

【before】被災後(令和元年10月)



【効果】河川断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待



【地域住民の声】



堤防をかさ上げすることで河川断面が大きくなり、かつ、堤防をコンクリートで補強することで洪水に強い堤防となりました。

壊れた堤防は補強され復旧が終わり、安心しています。  
社川には土砂もたまっていて、水量が多くなると危険なので、川底にたまった土砂をさらってもらえると、さらに安心して暮らせる。

安全  
安心

# 浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る

会津若松市

【after】対策後

河道掘削  
完了箇所

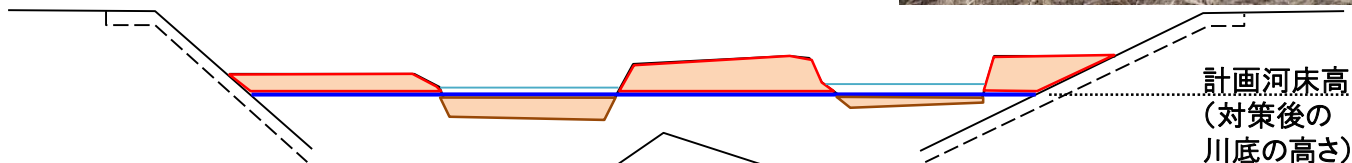
湯川

河道掘削  
完了箇所

【before】対策前

湯川

## 湯川(会津若松市) 防災・減災、国土強靱化対策



深掘れしている川底の凸凹を整える(河床整正)ことで、  
洪水に備えます。

【効果】河床整正とダムの洪水調整により河川の水位を低下(令和元年東日本台風)



令和元年東日本台風(令和元年10月12日～  
13日)時に、東山ダムでは1.34万m<sup>3</sup>(東京ドーム  
約1杯分)の洪水を溜め、下流の河川の水位  
を約1.0m低下させました。



ダムの洪水調整により約1.0m  
河道掘削の効果により約0.3m  
合計約1.3m水位低下  
⇒ **浸水被害なし**

【地域住民の声】



- ・住宅側に石を並べてもらったおかげで浸食されないので安心できるよ。
- ・景観も良くなり、河川に親しみが持てるようになりました。工事の後は散歩や遊んでいる人が増えました。
- ・台風が来ても大きな被害がなく良かった。

安全  
安心

# 浸水被害から地域住民の 安全・安心な暮らしを守る



【after】対策後

河道掘削  
完了箇所

## 田付川(喜多方市) 防災・減災、国土強靱化対策

田付川

河道掘削  
完了箇所

【before】対策前



田付川



田付川

【効果】河川断面が大きくなり、氾濫防止や被害軽減に期待

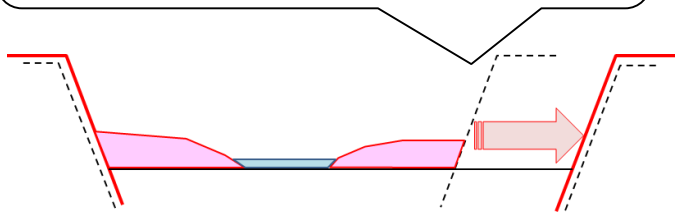
R4.8月  
豪雨時に  
被災なし

※連続雨量270mm  
(R4.8.3喜多方観測所)



田付川

川幅を広げ、また、河川内の土砂を撤去したことで、安全に洪水を流すことができるようになりました。



【地域住民の声】



護岸が綺麗に整備されたので、大雨が降っても、前より安心できるようになった。  
(地元行政区長さんの声)

【Topic】景観に配慮した護岸を整備



観光客が多く訪れるエリアであるため、石積ブロックを採用し、魅力的な河川景観を創出しました。

安全  
安心

# 河川改修による 市街地の安全・安心と親水性の向上



(令和5年3月)

## 右支夏井川(小野町)

【before】被災直後(昭和61年8月)

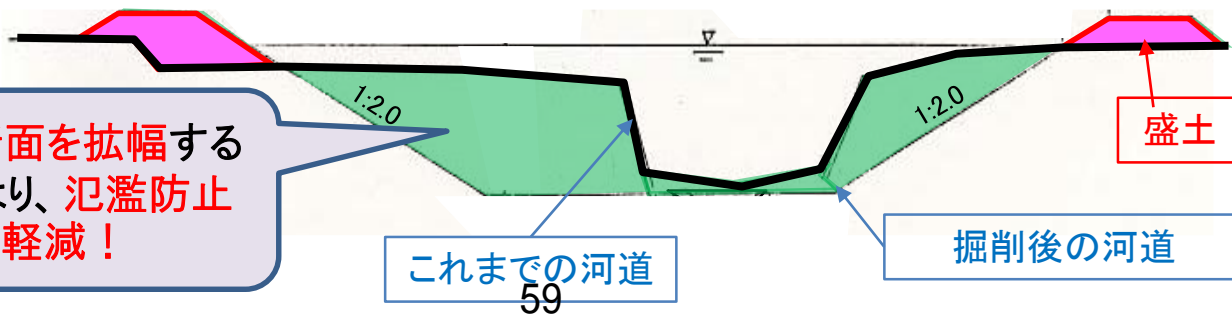
【after】整備状況(令和3年度)



車川の合流付近の河川改修工事(令和4年3月)

【効果】河川改修により**安心・安全の確保**

現在、甚大な被害を受けた昭和61年8月台風第10号と同規模の降雨となった場合でも、洪水による浸水被害を解消できるよう、河道の拡幅や護岸等の整備を進めています。



河川断面を拡幅することにより、**氾濫防止**や**被害軽減**！

これまでの河道

掘削後の河道

盛土

安全  
安心

# 台風及び豪雨における 堤防補強事業効果



【after】対策後



越水時の侵食  
から堤防を保護！

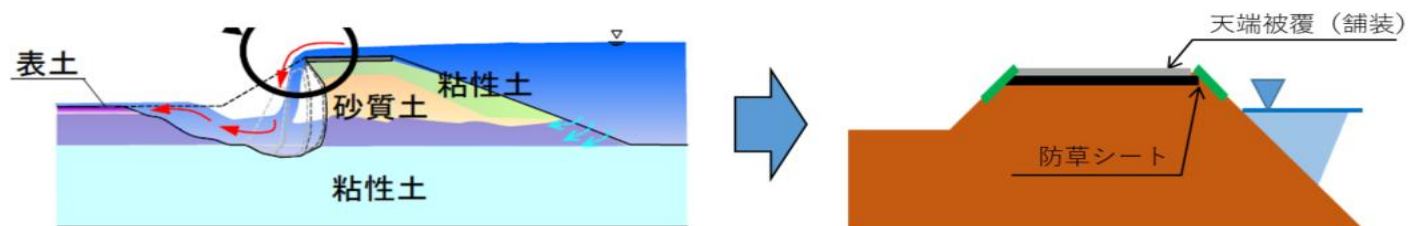
## 五百川(本宮市) 防災・減災、国土強靱化対策

【before】対策前



【効果】

河川の堤防を補強するため、堤防天端の舗装を行いました。  
堤防への雨水の浸透を抑制し、越水時の侵食から堤防を守ります。



【地域住民の声】



- ・ 河川の背後には工業団地が立地しており、堤防を舗装したことにより、水位が上がっても決壊の恐れが低くなり、これまでより安心して仕事ができる。
- ・ これまでは草が生い茂っており、河川全体の景観が良くなかったが、防草シートにより草が生えてくる心配がなくなり、河川全体の景観が良く見える。

安全  
安心

# 平成23年7月新潟・福島豪雨からの復旧 洪水から地域の安全・安心を守る

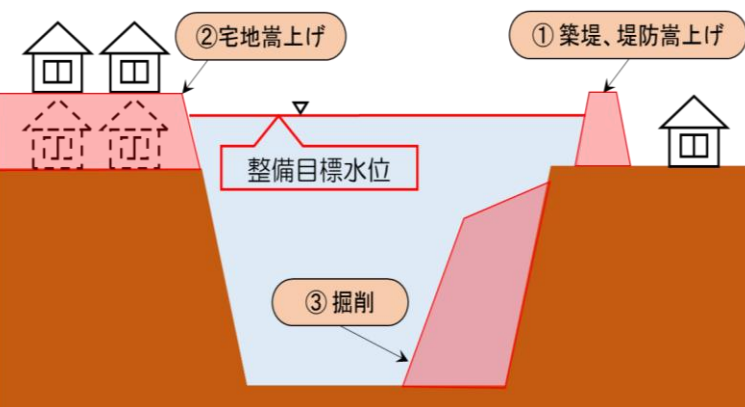


## 只見川河川改修(只見川沿川地域)

平成23年7月新潟・福島豪雨

平成23年7月27日から30日にかけて福島県会津を中心に記録的な大雨となりました。特に、28日から30日にかけて前線が停滞し、会津西部に位置する只見町の観測所では、4日間の総降水量が711.5 mmに達し、只見川(只見町～会津坂下町)では堤防等が決壊し家屋が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

【只見川河川改修事業】洪水から地域の安全・安心を守る！



＜只見川沿川24地区において河川改修事業を実施中＞

- ・土地の高さが低い土地において、浸水被害を防ぐために「①築堤、堤防嵩上げ」や「②宅地嵩上げ」を行います。
- ・河川の水位を下げるために川幅を広げる「③河道掘削」を行います。

【before】整備前



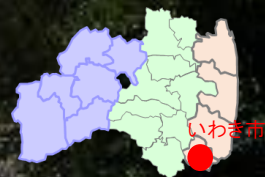
【after】整備後



横田地区(高根沢) (金山町)  
R2年度から築堤工に着手しR4年度に完成

安全  
安心

# 土砂災害から命や財産を守り、 地域の安全・安心を確保



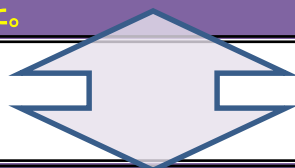
【after】対策済(法枠工)

保全人家

## 駒谷(いわき市内郷地区)

R5.9月  
台風時に  
被災なし

【効果】令和5年9月の台風13号による豪雨でも、対策工を実施していた地区においては、土砂災害を未然に防ぐことができました。



【未対策】台風13号による豪雨によりいわき市の内郷・常磐地区を中心に多数の土砂災害が発生。

(平太郎)いわき市内郷宮町

未対策

法面崩落状況

(山ノ神)いわき市常磐湯本町

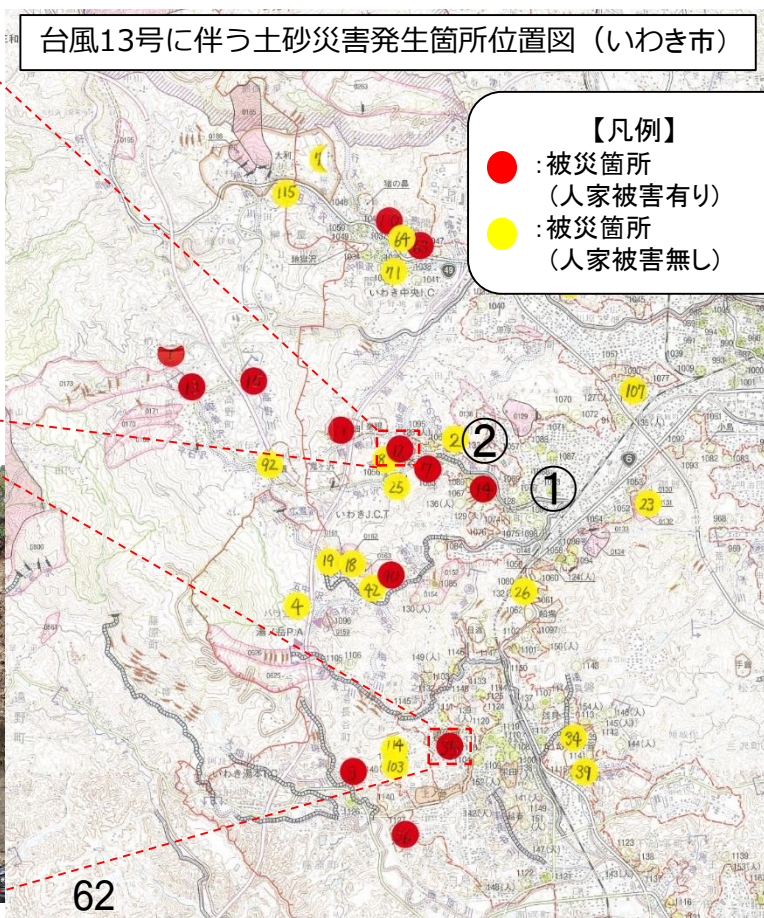
未対策

法面崩落状況

台風13号に伴う土砂災害発生箇所位置図 (いわき市)

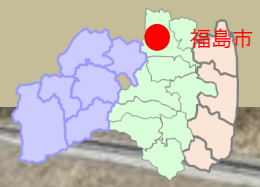
【凡例】

- :被災箇所 (人家被害有り)
- :被災箇所 (人家被害無し)



安全  
安心

土砂災害から命や財産を守り、  
地域の安全・安心を確保



【after】対策後

R5.9月  
台風時に  
被災なし

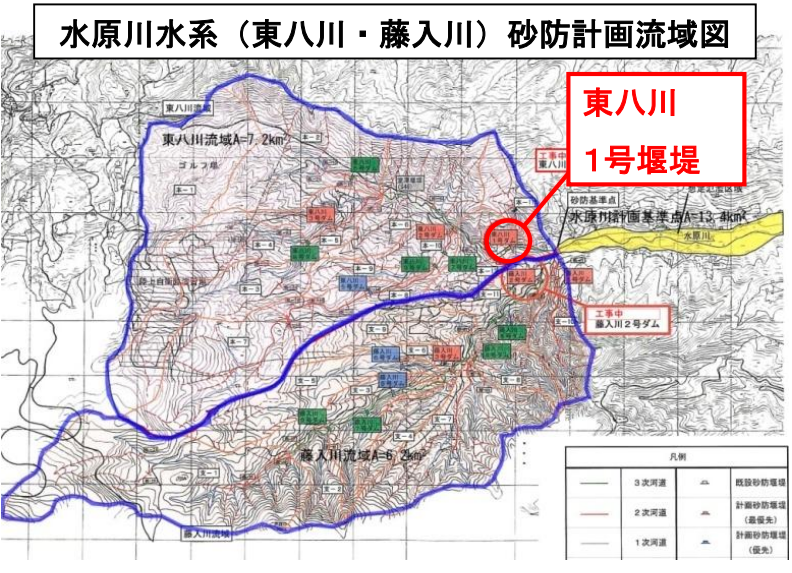
# 東八川 砂防堰堤(福島市)

【効果】令和5年9月の豪雨災害による被害なし。

下流保全施設

保全対象

- ・(主)土湯温泉線
- ・人家戸数:166戸
- ・保全施設名:公民館等



令和5年9月の豪雨災害において、  
砂防堰堤より上流は荒廃や溪岸浸食がみられたが、

砂防堰堤より下流では被害がなかった。

安全  
安心

土砂災害から命や財産を守り、  
地域の安全・安心を確保！



# 飯根沢砂防堰堤(西会津町)

【before】被災前(平成29年5月撮影)



堰堤側面より撮影

【after】堆積状況(令和4年8月)



堰堤側面より撮影



堰堤上流側より撮影

R4.8の豪雨災害時の  
堆砂位置



下流保全人家



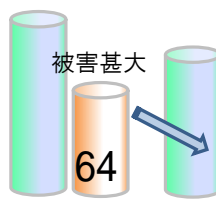
堰堤上流側より撮影

平成7年8月には、大規模な土石流  
が発生。下流の人家に甚大な被害を  
もたらした



【効果】令和4年8月の豪雨災害による被害なし！

稲荷峠観測所  
降雨量  
平成7年  
8月1~4日  
354mm



寺内観測所※  
降雨量  
令和4年  
8月3~4日  
268mm

砂防堰堤整備により、  
下流への土砂流出は  
なく、**被害ゼロ**！

※稲荷峠観測所が平成21年で廃止となったため、  
近隣の寺内観測所を採用

安全  
安心

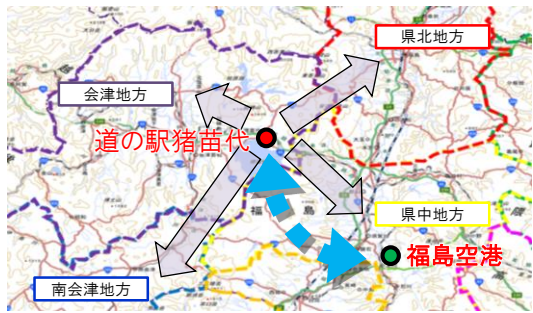
# 広域的な防災拠点としての 役割を担う「道の駅」



## 道の駅「猪苗代」 【「防災道の駅」令和3年6月11日選定】

【効果】大規模災害時に、道の駅を**広域的な防災拠点**として活用

道の駅「猪苗代」は、令和3年6月11日に国土交通省より「**防災道の駅**」に選定されました。  
大規模災害時の派遣部隊等による復旧・復興活動の基地となる**広域的な防災活動拠点**として、その機能強化を図ります。



### 防災機能の更なる強化

建物の耐震化・無停電化、貯水タンク、防災トイレ、防災倉庫、ヘリポート等の機能を完備しており、今後も更なる機能の強化を進めてまいります。



# 令和4年3月発生 of 福島県沖地震における 漁港の機能強化対策済み岸壁の効果



相馬市

松川浦漁港 原釜地区

原釜荷捌き施設  
(魚市場)

## 松川浦漁港 (相馬市)

地震・津波対策施設【-3.0m岸壁】  
(令和6年度耐震・耐津波化完了)

○松川浦漁港は、県内随一の漁獲量・漁獲高を誇る漁港です。

○漁獲した「常磐もの」の水産物は、原釜荷捌き施設の前面の岸壁で水揚げされ、競りが行われた後、県内外に出荷されています。

○水揚げする岸壁の機能が損なわれた場合は、漁業活動に大きな支障が生じます。

【整備内容】岸壁の地震・津波対策として、グラウンドアンカーを増設

### 【対策済み岸壁】令和4年3月地震による岸壁本体の被害なし



《対策未実施箇所》

岸壁本体の被災が発生

岸壁の傾き、法線のずれ



《対策実施箇所》

岸壁本体の被災なし

アンカー施工箇所

段差すり付け  
(応急措置)

○地震によって傾きなどの被害が発生し、長期間利用ができなくなった箇所もあります。

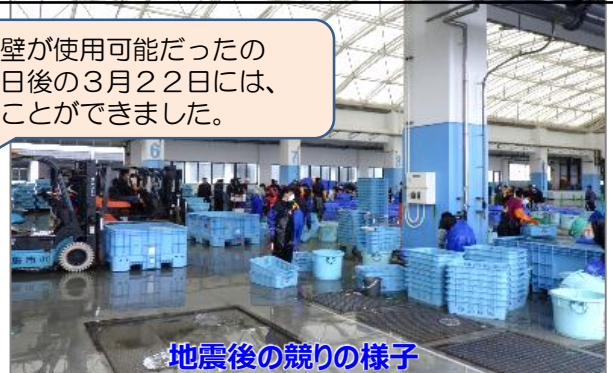
○震度6強の地震後でも岸壁本体には変状がなく、簡易的な応急措置で、漁業活動が可能となりました。

【効果】漁港施設機能の強化により、早期の操業再開が可能に



地震後に対策済み岸壁で水揚げ

水揚げをする岸壁が使用可能だったので、地震から6日後の3月22日には、操業を再開することができました。



地震後の競りの様子

安全  
安心

# 台風13号豪雨における ダムの洪水調節機能



小玉ダム 貯水池状況

最高貯水位 9/9 1:00 EL.192.19m

## 小玉ダム(いわき市) 木戸ダム(楢葉町)

【before】平常時(令和5年8月17日)

【after】洪水時(令和5年9月9日)



木戸ダム 8/17 11:00 EL.178.66m



木戸ダム 9/9 9:00 EL.183.95m

【効果】ダムによる洪水調節により下流河川の水位の上昇を低減

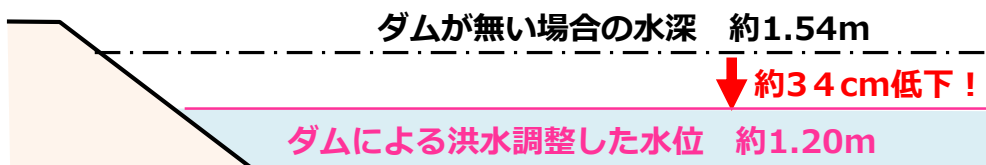
地域住民の声

今回の台風13号では、木戸ダムで1,876千m<sup>3</sup>(東京ドーム1.5杯)、小玉ダムで967千m<sup>3</sup>(東京ドーム0.8杯)の水を貯留しました。このうち小玉ダムでは、ダムからの放流量を調節することで、下流河川において、ダムが無い場合と比較し、**水位を34cm低下**させました。

**水位があまり上がらなかった**ので、安心していられた。  
(地域住民)



河川水位の上昇を低減



河川断面図

安全  
安心

# ダムの再開発により、 洪水から地域を守る！



## 千五沢ダム(石川町)

令和6年3月 再開発事業完了

【before】被災直後(昭和41年9月洪水)

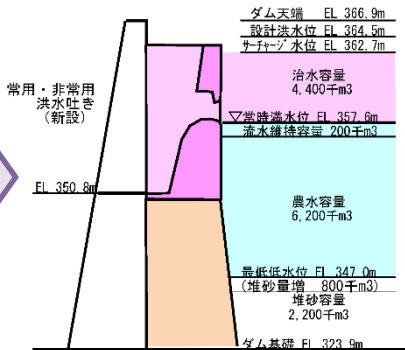
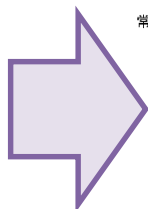
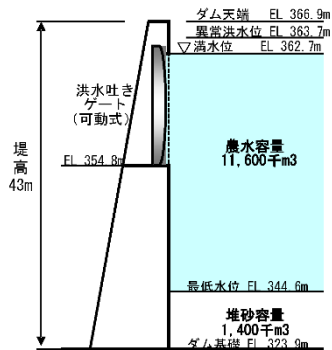
【after】整備状況(令和6年1月)  
(試験湛水の洪水時最高水位)



昭和41年9月洪水による浸水状況

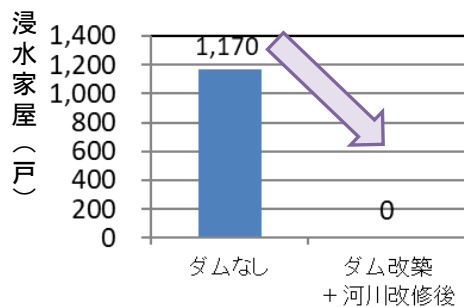


【効果】ダムに洪水調節機能を付加することにより、石川町市街地の洪水被害を軽減し、沿川住民の安全・安心を確保



### 洪水被害の軽減効果

(昭和41年9月洪水による試算結果)

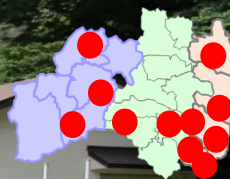


昭和50年にかんがい専用ダムとして整備。洪水調節機能がないため、度々洪水被害が発生。

千五沢ダム再開発事業により、  
既存の洪水吐を改築し、  
ダムに洪水調節機能を付加。

約1,170戸(想定)の被害が軽減し、  
沿川住民の安全・安心が確保されます。

# ダムの事前放流により洪水調節機能を強化

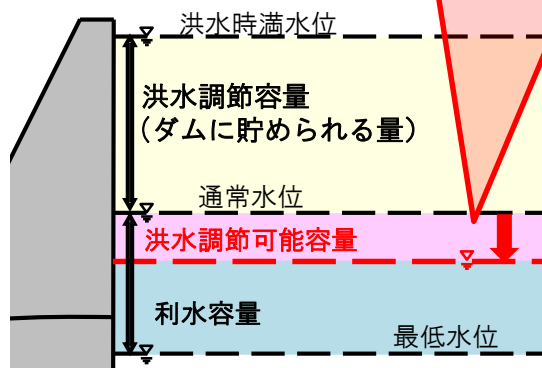
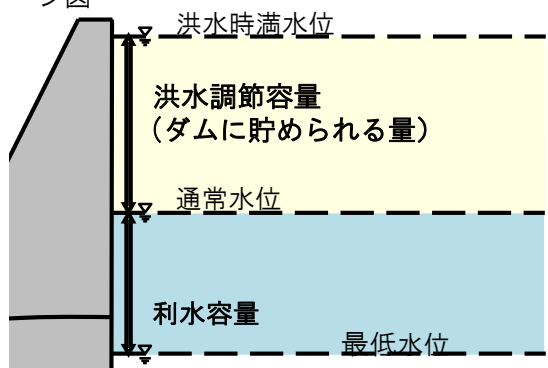


堀川・東山・日中・田島・高柴・四時・真野・木戸・小玉・こまちダム・千五沢ダム

【before】通常の洪水調節容量

【after】事前放流実施による確保容量

イメージ図



## 事前放流とは.....

大雨が予想される場合、利水容量の一部をあらかじめ放流し、貯水位を低下させることで、水害対策に使える容量（洪水調節容量）を増やします。

【効果】事前放流により、ダム下流河川の浸水被害の軽減し、地域住民の安全・安心を確保！

## 【ダムの洪水調節機能強化に向けた体制構築】

一級水系である阿賀野川・阿武隈川水系の5ダムと、二級水系の6ダムにおいて、事前放流を可能とする治水協定を締結しています。

近年の頻発化・激甚化する水災害への備えとして、これまで確保していた洪水調節容量に加えて、新たに利水容量の一部を水害対策に使える容量として確保することで、**ダムの洪水調節機能を強化し、出水時にダム下流河川の浸水被害軽減を図ります。**



# 東日本大震災において 救難救助の拠点として活用



## 福島空港(須賀川市、玉川村)

【効果1】震災時、**帰宅困難者のターミナル**に  
定期便に加え臨時便を運航し、帰宅困難者の  
ターミナルとなった。

【効果2】**緊急医療の拠点**として機能  
DMAT(災害派遣医療チーム)の活動基地、  
緊急物資の輸送拠点となった。



ターミナルビル内

県内で必要とする食料全体の  
約3分の2は福島空港を經由  
し、県内各地の避難所等へ届  
けられました。



発災翌日からDMAT活動開始



緊急物資の積み替え

・JRや高速道路などアクセ  
セスが悪いなか、県外へ  
避難出来てよかった。  
・仙台空港が使用できな  
いなか、福島空港から他  
空港への移動ができて助  
かった。



路線	臨時便 運航期間	臨時便		定期便 (3月12日~31日)		搭乗者数 合計
		便数	搭乗者数	便数	搭乗者数	
札幌	3月12日~24日	76便	3,377人	80便	5,052人	8,429人
大阪	3月12日~31日	48便	3,734人	120便	3,647人	7,381人
羽田	3月13日~4月10日	104便	11,022人	—	—	11,022人
名古屋	3月13日~31日	62便	2,343人	—	—	2,343人
合計		290便	20,476人	200便	8,699人	29,175人

# 令和元年東日本台風における耐水化事業 による受変電設備の高所化



【効果】電気室を1階から2階へ移動することで、水害時でも下水処理場の機能を維持

整備状況(令和6年9月)  
第2SP棟2階 電気室



被災直後(令和元年東日本台風)  
管理棟1階 電気室  
水没による停電で機能停止



# 下水道管渠の管更生による耐震化工事 (阿武隈川上流流域下水道(県北処理区) 左岸幹線)



- ◆ 下水道施設は重要なライフラインの一つであり、快適な生活環境を守るため災害時においても機能を確保することが求められます。
- ◆ 耐震診断調査において耐震性能不足と診断された下水管渠の耐震化を計画的に進めています。
- ◆ 道路交通状況や住民生活への影響を考慮し、下水道を供用させながら管の耐震性能の向上を図る管更生の工法を選定しています。



【before】 管更生前

【after】 管更生後(令和7年8月)



耐震性能不足の管渠



管更生により耐震性能を確保

## 【効果】 地震時の下水道機能確保

災害発生

管路破損防止

下水の流下機能の継続

衛生環境の保持

# 街路整備により伊達市梁川町の 中心市街地の活性化に貢献



第36回全国街路事業コンクールにおいて、優秀賞を受賞！  
(全国街路事業促進協議会主催)



「まちの駅やながわ春まつり」の様子(R5.4.23)

## 都市計画道路 中央線外1線(伊達市)

【令和5年3月完成】

### 【効果】伊達市梁川町中心市街地の賑わい創出

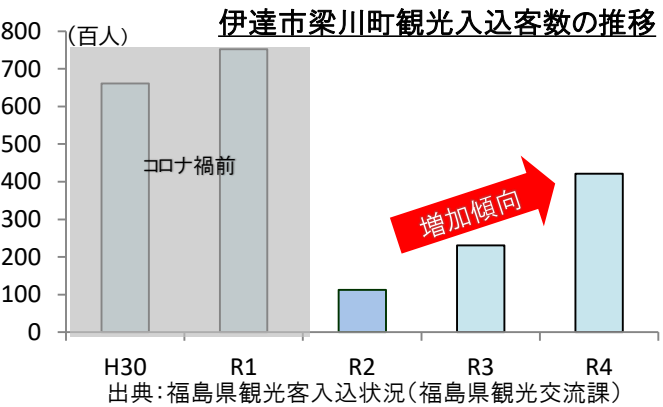
- 伊達市梁川町を訪れる観光入込客数は、R2にコロナ禍の影響を受け落ち込んだが、近年では増加傾向にある。
- 中央線の開通に伴い、新たなシンボルロードとしてイベント開催(まちの駅やながわ春まつり)に寄与。
- 今後も中心市街地の賑わい創出に寄与していく。

### 整備内容

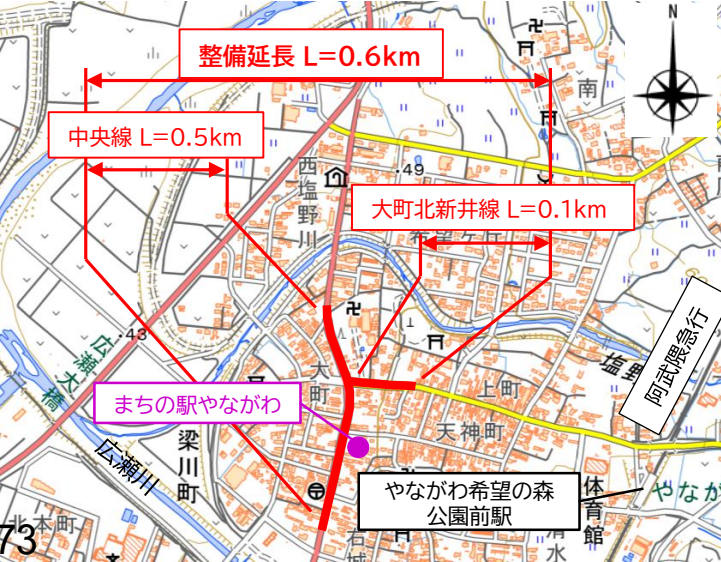
- 無電柱化および道路拡幅により防災性の向上および安全で円滑な交通の確保



整備前の状況



整備後の状況



【全国街路促進協議会会長(広島市長)による交通優秀賞のクリスタル授与の様子】



国道399号 いわき駅前大通り  
【令和6年度ほこみち指定】

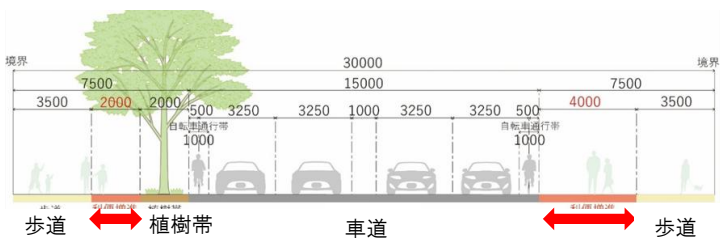
【効果】賑わいのある道路空間の構築

○ NPO法人のタイラボが道路空間におけるイベント等の利用調整を行い、道路空間の多様な利活用が図られるなど、いわき駅前大通りで賑わいが創出されています。



いわき駅前大通り指定内容

○ JRいわき駅前の国道399号において、県内で初となる「歩行者利便増進道路」の利便増進誘導区域が指定されました(令和7年3月)。





## 花園さくらパーク(棚倉町)

【令和2年3月完成】

### 【効果1】訪問者の安全と快適性を確保し、地域の賑わいづくりを支援

棚倉町の観光名所である「花園しだれ桜」は、かんがい用水のため池の土手にぽつんと植えられた推定樹齢160年を超える一本桜です。池に映る「逆さ桜」も見事で、桜のシーズンには県内外から多くの観光客やカメラマンが訪れますが、駐車スペースの不足や進入路など、通行車両の安全確保が課題となっていました。

そこで、沿道の空地を活用して、地域の皆様の意見を取り入れながら、16台分の公共駐車場や日よけになる四阿(あずまや)を配置した「花園さくらパーク」を整備し、訪問者の安全と快適性を確保しました。



PR動画に繋がるQRコード・音声ガイドもついた案内板



16台分の駐車場とあずま屋を配置



車両の安全な出入りのため進入路を整備



PR動画はこちらからご覧いただけます！  
(棚倉土木事務所YouTubeチャンネル)

### 【効果2】地域と連携した「おもてなし」活動

これまでも棚倉町観光協会花園支部の皆さんが、仮設トイレの設置や交通整理、お茶出しなど、訪れる観光客などへ心温まるおもてなしと、周辺の美化活動を行ってきました。

この「花園さくらパーク」の完成を機に、棚倉町観光協会花園支部、棚倉町、福島県の三者で「うつくしまの道・サポート制度」に関する合意書を締結し、協力して周辺の美化活動等に取り組んでいます。

### 【棚倉町観光協会の方の声】

「駐車スペースがきれいになり、休憩所も整備されてよかった。さくらパークの整備により、棚倉町を訪れる方々がより一層増えることを期待したい」



地域の皆さんが続けてきたおもてなし活動



うつくしまの道・サポート制度合意書締結式

# メインストリートの整備による 中心市街地の活性化に貢献

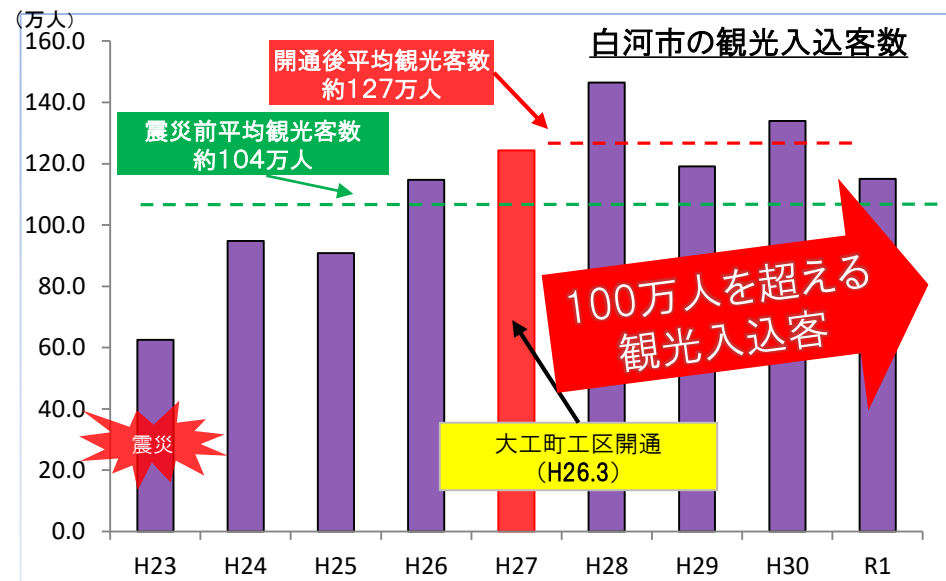


## 都市計画道路 白河駅白坂線(白河市)

【大工町工区:平成26年3月完成】【向新蔵工区:令和7年2月完成】

### 【効果】観光客の増加

- 白河市では、白河駅白坂線の開通に伴い、新たなシンボルロードとして各種イベントを開催。
- 白河市を訪れる観光入込客数は、街路整備後、震災前より約23万人が増加しました。
- 15年ぶりに復活した「白河関まつり」の会場になるなど、今後も地域活動の拠点として中心市街地に貢献することが期待されます。

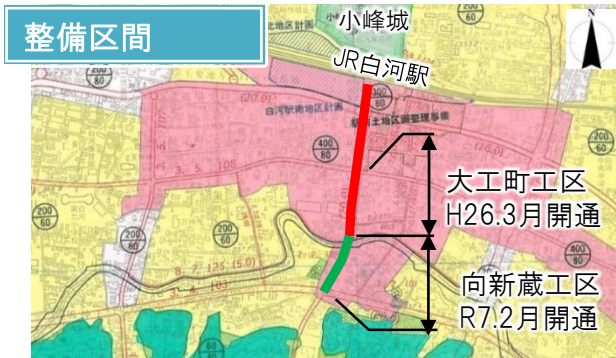


しらかわキャラ市観光客数  
約5.0万人(H30)→約7.2万人(R元)

出典:福島県観光客入込状況(福島県観光交流課)



白河関まつり

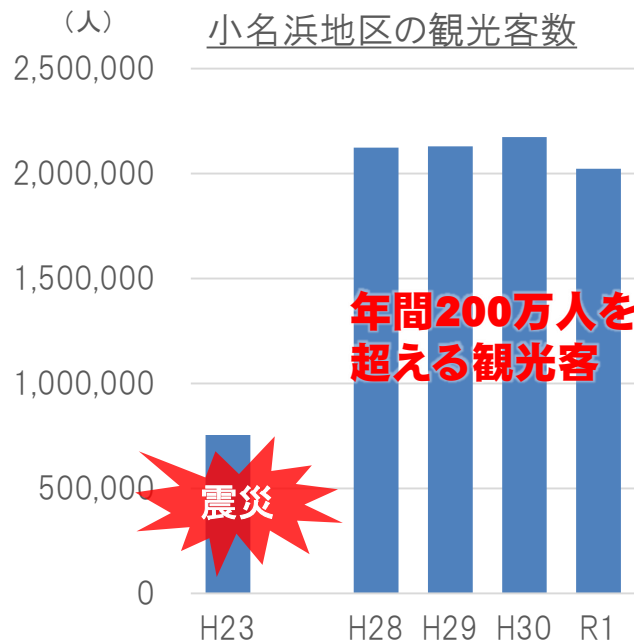




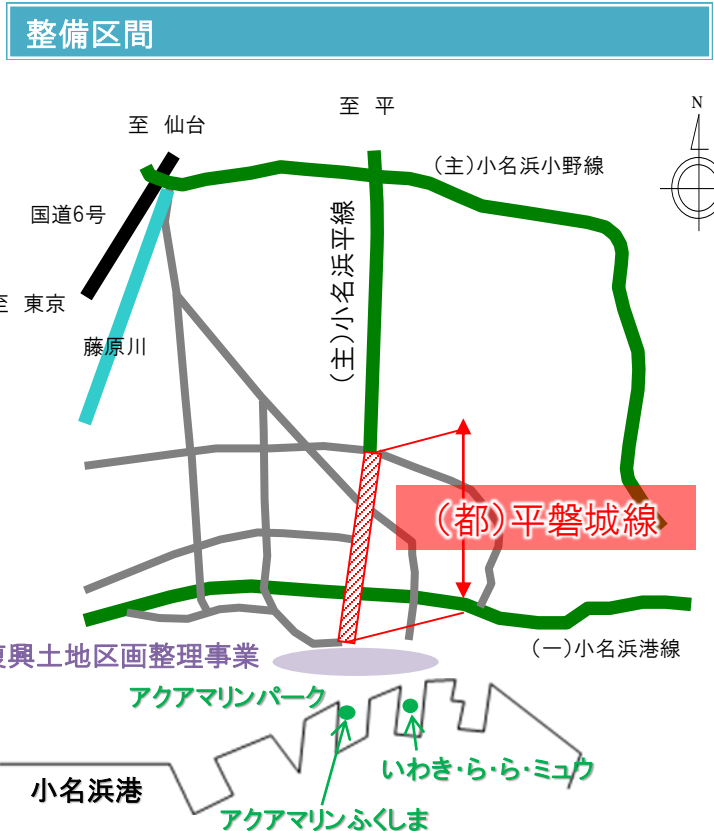
都市計画道路 平磐城線(いわき市)  
【平成30年6月完成】

【効果】歩行者や交通の安心・安全を確保し、小名浜地区の観光振興を支える！

- 東日本大震災の影響で、一時大きく減少した小名浜地区の観光客数は、近年では200万人を超える県内有数の観光地に。無電柱化や車線数の増により、歩行者の安全確保や都市内交通の円滑化、防災スペース・避難路の確保に貢献しています。
- 本事業と並行して進められた市の復興土地区画整理事業では、区域内に大型商業施設が出店するなど、地域の賑わいを創出している。



出典：福島県観光客入込状況(福島県)  
「アクアマリンふくしま」  
及び「いわき・ら・ら・ミュウ」の集計値



# “くらにわ”が地域の賑わいをつなぎ 蔵の街なみにゆとりとふくらみを創出！



しほ横町



喜多方ラーメン



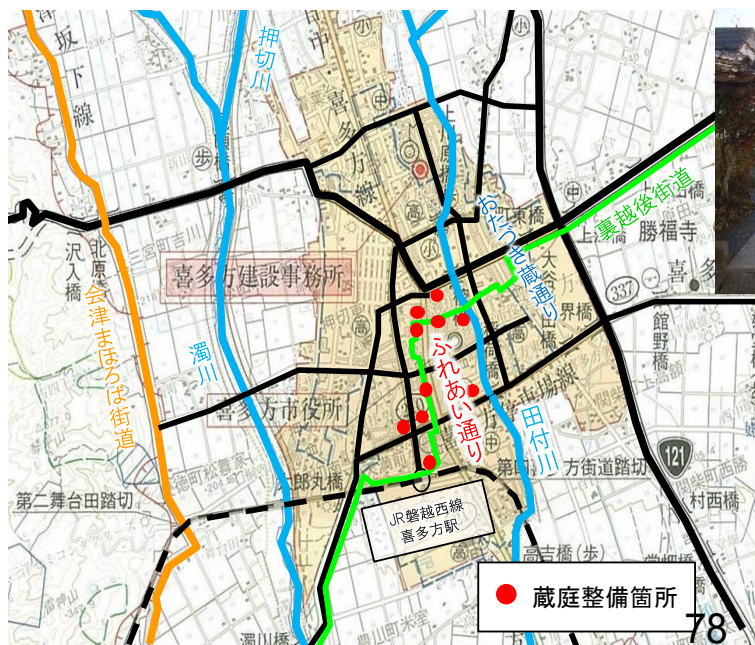
喜多方市

## 蔵庭(ポケットパーク)整備(喜多方市) 【平成29年度完成】

【効果】蔵庭を活用したイベント開催など、喜多方中心市街地の活性化により観光客が増加傾向！

- ふれあい通りは、喜多方駅から喜多方市の中心部に向かって最も近い商店街であるとともに、人気のラーメン屋等が軒を連ねる入口ともなっていました。駅からの案内や休憩所がなく、いかにまちをつないでいくかが課題でした。
- そこで、観光客が街中を回遊しながら休憩できる休憩施設として「蔵庭(ポケットパーク)」を整備し、市の中心商業地である「ふれあい通り」の活性化を図りました。
- 地域住民の方が蔵庭に植栽するなど魅力的な空間を創出するとともに、蔵庭を使って様々なイベントを開催し観光客をもてなすなど、地域づくりの活性化と観光振興に貢献しています。

### 喜多方の風土を活かした蔵庭(ポケットパーク)を道路脇に整備



- 無散水消雪の歩車道整備と合わせて、これまで空き地だった土地に蔵庭を整備し、道路から見られる蔵と調和した景観を創っています。

# ポケットパークのリニューアルによる 温泉街の魅力向上！

会津若松市



リニューアル前

## 芦ノ牧温泉ポケットパーク整備(会津若松市)

【効果1】20万人を超える有名観光地の玄関口の整備により、**温泉街の魅力がアップ！**

■足湯につかりながら、周囲の山々の景色を眺められる癒しの空間として、**温泉街の新たなシンボル**となっています。特に、夜間はライトアップにより幻想的な空間を創り上げ、温泉街を訪れた**観光客をもてな**しています。



塔屋(ライトアップ)

足湯



【効果2】ポケットパークの整備をきっかけに、**地元住民による地域づくりが活性化！**

■ポケットパークのリニューアルをきっかけに、地域住民の皆さんが季節の花々を植栽したり清掃を行うなど、温泉街における**地域づくりが活性化**しています。



地元による美化活動



# 道路工事で生まれた空地进行地域の交流スペースとして活用！



このモニュメントは、小川町を代表する詩人「草野心平」の作品中に登場した、「モリアオガエル」をイメージし、小川中学校美術部の生徒の皆さんに令和2年度から令和3年度にかけてデザインを作成して頂きました。

県道小川赤井平線を通行する皆様、家に「蕪草、カエル」よう、小川郷駅から来た皆様に「快くむカエル」よう、「この場所よりカエル」が見届けて参ります。

令和4年3月

## 小川地区ポケットパーク整備(いわき市) 【令和4年3月完成】

【効果】地区の玄関口となる駅前の賑わい創出と、震災避難者との交流の場を提供

小川地区は、夏井川渓谷や背戸峨廊、ニツ箭山などの豊かな自然に囲まれ、詩人・草野心平の故郷としても有名です。

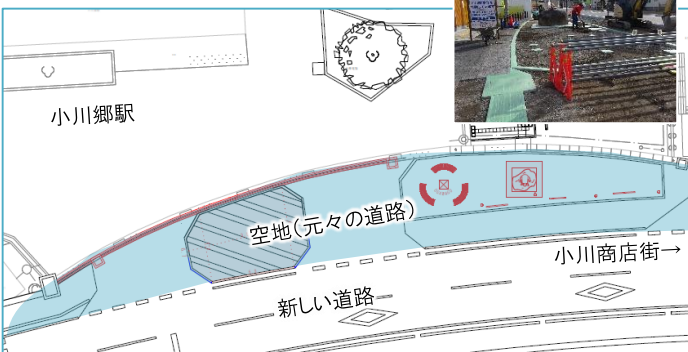
また、原子力災害による避難者のための復興公営住宅が整備され、地元から、地区の玄関口となる小川郷駅前の賑わいづくりや地域の交流場所の設置が望まれていました。

そこで、県道の改良工事で生まれた空地进行活用して、地域の交流スペースとなるポケットパークを整備しました。

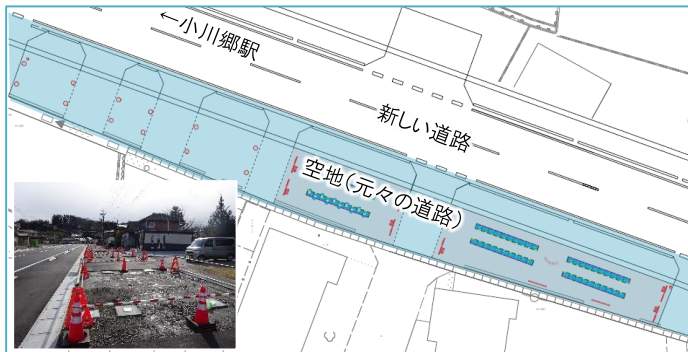
かえるのモニュメントは地元の小川中学校美術部の皆さんがデザインしました！

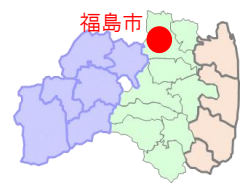


### 小川郷駅前エリア



### 小川商店街エリア





サイクルスポーツ広場



歩こう秋のふくしまあづまの郷ウォーク

## あづま総合運動公園(福島市)

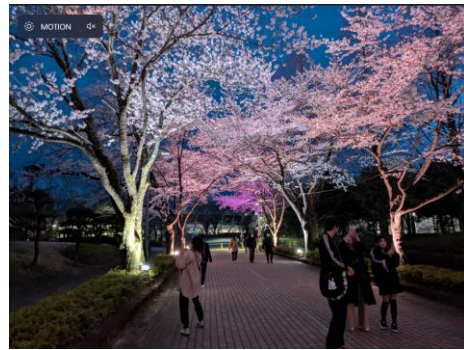
【効果】みんなが集える場所として、健康増進や癒しを提供

マラソン ▶  
シーズンの  
スタートに  
ぴったりの  
大会



あづま焼けパークマラソン

- ギュギュっというところのいい大会です。夏はやっぱこれだねってなるし、お祭り感もあり、夏の終わりにサイコーのひと時でした。またお土産の特産梨も良かった。(40代男性)
- スタッフの方々の応援が温かく、元気の出るマラソン大会でした！(50代男性)



◀ サクラ光の  
ファンタジー



落ち葉プール

オリンピックレガシーの継承～各種展示物やイベントの実施～



県営あづま球場



東京2020大会メモリアルコーナー



記念碑

令和3年7月に東京2020オリンピックの、ソフトボールと野球が県営あづま球場で開催されました。

# 民間活力を活用した既存ダムの 水力発電により環境負荷を低減！！



## 四時ダム(いわき市)

津水峠

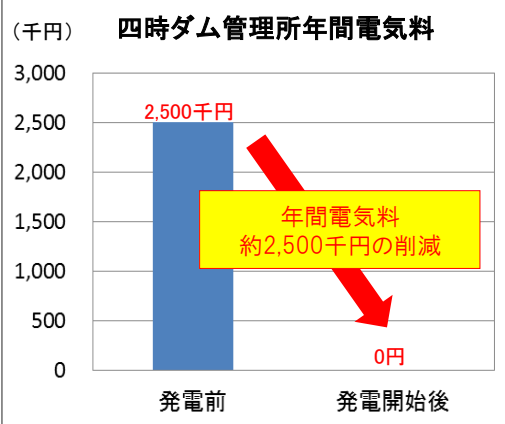
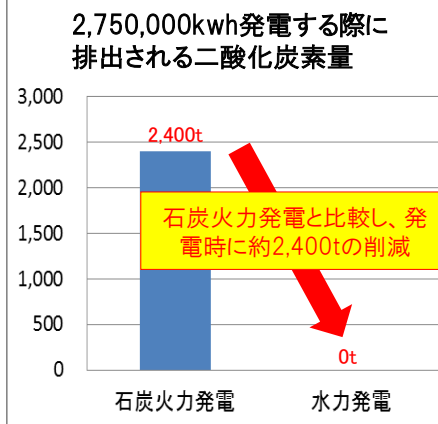
四時ダム発電所

【効果】水力発電により環境負荷(二酸化炭素排出量)を軽減するとともに、ダム管理費を削減

■ESCO事業で水力発電所を整備したことにより、二酸化炭素を排出することなく年間約2,750,000kWh発電することができます。

石炭火力発電で発電する場合と比べて、**2400t程度の二酸化炭素排出量を削減**することが可能となり、環境負荷の軽減に寄与します。

■また、この事業によりダム管理に必要な**電気料の削減**や、契約終了後は水力発電設備が無償譲渡されることにより**売電収入**が得られるなどの効果も期待されます。



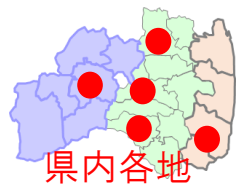
発電 1 kWh当り二酸化炭素排出量  
 石炭火力発電: 886.8 g-CO<sub>2</sub>/kWh  
 水力発電: 0.0 g-CO<sub>2</sub>/kWh

### 四時ダム発電所(全景)



### 発電所内 横軸フランシス水車





内部改善事業は、築35年以上経過した住棟を対象に、基本性能の不足や住戸内の各部位の劣化に対して行う改善手法(居住性向上、福祉対応、長寿命化)です。

## 県営住宅内部改善事業

【効果】バリアフリー化や水回りのリフォームにより、入居者の生活の質が向上

### 【内部改善の主な内容】

- ・バリアフリー化  
(段差解消、手すり設置等)
- ・給湯設備、ユニットバスの設置
- ・設備配管の更新



リフォーム範囲



②浴室へユニットバス(シャワー付き混合水栓付き)・手すり設置



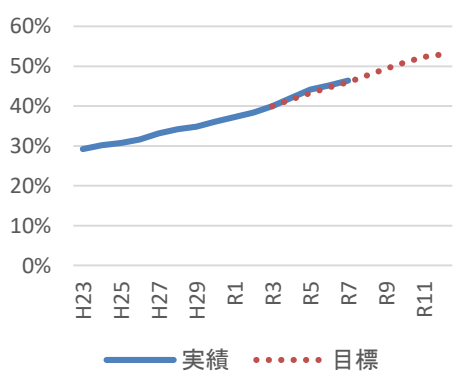
①トイレの段差解消・便器更新・手すり設置



床の段差が解消されてつまずく心配がなくなりました。

浴室、洗面所、台所でお湯が使える快適です！

浴室やトイレに手すりが付いて安心です！



③洗面所へキャビネット型洗面化粧台設置(シングルバ-混合水栓付き)



⑤台所の水栓更新(シングルバ-混合水栓付き)



②③⑤浴室・洗面所・台所へ給湯配管設置



共通(照明のLED化)